

平成27年度 周南市事務事業評価シート

担当部・課名	子育て支援課	評価者 (課長)	中村 広忠	評価責任者 (部長)	大西 輝政
事務事業コード	013529	事務事業名	児童手当費一般事務費	事業の分類	(経常的事務事業) 補助・単独の別 単独 会計名 01一般会計

【事業概要】 Plan

まちづくり総合計画・後期基本計画における位置づけ	分野	Ⅲ 福祉・保健・医療	節(まちの姿)	Ⅲ2 安心して子育てができる	実施計画	×
	基本施策	Ⅲ21 子育て支援の充実	基本方向	子どもと子育てにやさしいまちを目指し、安心して子どもを産み育てることができる環境づくりを進めます。	20年度市民評価の満足度	
	推進施策	(4) 子育て家庭・ひとり親家庭への支援			【子育て支援や少子化対策】	22.80%
	推進施策の展開	乳幼児やひとり親家庭の健康増進と児童の健やかな成長を支援するため、医療費の一部助成を行います。ひとり親家庭の経済的自立支援のための事業に取り組みます。			25年度市民評価の満足度	
					【子育て支援や少子化対策】	33.80%
事業の目的 (対象、意図)	対象(誰を・何を): 中学校修了前までの児童の養育者		意図(どういう状態にしたい): 受給資格者に対し児童手当を支給する。		事業の内容 (手段)	受給資格者の認定請求や現況届により受給要件および手当の額についての認定を行う。

【実施内容】 Do(細事業はDoとCheckを行います。各小事業や細事業の検証にあたっては、別添の検証シートを活用)

事業の実績	【26年度】						項目	単位	25年度	26年度	27年度(予算)	28年度(見込)	29年度(見込)		
	受給者に対し、合計で2,399,705,000円を支給した。 受給者10,756人、児童数18,440人														
事業目標	目標名	受給者数	計算式	達成項目/目標項目		単位	人	事業費	直接事業費	千円	4,353	4,782	3,513	3,664	3,664
	年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	(予算額) うち一財		千円	4,353	4,782	3,513	3,664	3,664	
	目標値	0.0	11,000.0	10,800.0	10,800.0	10,800.0	直接事業費		千円	4,116	4,752		対27年度増減理由	対28年度増減理由	
	実績値	11,317.0	11,006.0	10,756.0			(決算額) うち一財		千円	4,116	4,752				
	達成度(%)	-	100.1%	99.6%			正職員人件費		千円	0	0				
							人工数		人	0.00	0.00	0.00			
事業を構成する細事業【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度		人工数	コスト	委託等の可否					
	①	児童手当費一般事務 (経常的事務事業)	中学校修了前までの児童の養育者	受給資格者に対し児童手当を支給する。	受給者数見込 10,800人	受給者10,756人 児童数18,440人	正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時嘱託				
							0	0	4,752	否	否				
	細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他 臨時職員の雇用によりコストの削減に努めている。					細事業評価								
	②						A	改善案							
細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価									
							改善案								

事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度		人工数		コスト		委託等の可否		
								正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時		
	③													
	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価								
	細事業の課題							改善案						
	④													
	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価								
	細事業の課題							改善案						

【評価】 Check

課題・問題等	事業開始からの環境変化	平成24年4月1日子ども手当法から移行。同年6月より所得制限が導入された。	前年度までの指摘事項	児童手当法に基づく児童手当の支給事務であり、計画どおり実施する。	指摘事項に対する改善状況	—
	細事業の課題・問題点	所得制限の導入により、子ども手当よりも事務量が増大した。		事業全体の課題・問題点	所得制限の導入により、子ども手当よりも事務量が増大した。	

所管課評価						
評価	A	A 計画どおりに事業を進めた B 実施方法やコスト等の見直しが必要 C 事業統合や外部委託等による大幅な見直しが必要 D 休止・廃止の検討	評価理由	児童手当法に基づく国の制度である児童手当の支給事務であり、適正に認定事務を行っていく。	改善案	—

評価責任者(所管部長)評価・コメント	
評価	A 児童手当法に基づく児童手当の支給事務であり、計画どおり実施する。

第2次周南市まちづくり総合計画・前期基本計画における位置付け	
施策体系コード	100404
分野	1教育・子育て
基本施策	4子育て環境の充実
推進施策	(4)子育て家庭・ひとり親家庭への支援

【改善】 Action

平成28年度当初予算等での改善結果(平成28年度当初予算への反映など)
人件費以外の予算額を前年度並に抑えた

備考

平成27年度 周南市事務事業評価シート

担当部・課名	子育て支援課	評価者(課長)	中村 広忠	評価責任者(部長)	大西 輝政
事務事業コード	013535	事務事業名	児童扶養手当一般事務費	事業の分類	(経常的事務事業) 補助・単独の別 単独 会計名 01一般会計

【事業概要】 Plan

まちづくり総合計画・後期基本計画における位置づけ	分野	Ⅲ 福祉・保健・医療	節(まちの姿)	Ⅲ2 安心して子育てができる	実施計画	×
	基本施策	Ⅲ21 子育て支援の充実	基本方向	子どもと子育てにやさしいまちを目指し、安心して子どもを産み育てることができる環境づくりを進めます。	20年度市民評価の満足度	
	推進施策	(4) 子育て家庭・ひとり親家庭への支援			【子育て支援や少子化対策】	22.80%
	推進施策の展開	乳幼児やひとり親家庭の健康増進と児童の健やかな成長を支援するため、医療費の一部助成を行います。ひとり親家庭の経済的自立支援のための事業に取り組みます。			25年度市民評価の満足度	
					【子育て支援や少子化対策】	33.80%
事業の目的(対象、意図)	対象(誰を・何を): 18歳未満の児童の監護をする母又は父、又は養育者(児童の父母以外の人)	意図(どういう状態にしたい): 受給資格者に対し児童扶養手当を支給する。	事業の内容(手段)		認定請求や現況届により受給要件及び手当の額について、認定を行う。	

【実施内容】 Do(細事業はDoとCheckを行います。各小事業や細事業の検証にあたっては、別添の検証シートを活用)

事業の実績	【26年度】						事業費	項目	単位	25年度	26年度	27年度(予算)	28年度(見込)	29年度(見込)
	対象者 1,415人 全部支給 635人、一部支給 644人、全部停止 136人							直接事業費	千円	255	1,969	1,999	2,039	2,039
事業目標	目標名	受給者数	計算式	達成項目/目標項目		単位	人	(予算額) うち一財	千円	255	1,969	1,999	2,039	2,039
	年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度		直接事業費	千円	225	1,872		対27年度増減理由	対28年度増減理由
	目標値	1,200.0	1,280.0	1,300.0	1,280.0	1,280.0		(決算額) うち一財	千円	225	1,872			
	実績値	1,286.0	1,291.0	1,279.0				正職員人件費	千円	0	0			
	達成度(%)	107.2%	100.9%	98.4%				人工数	人	0.00	0.00	0.00		
事業を構成する細事業【26年度実績】	細事業名		事務対象	事務業務目的	事務業務目標		H26実施内容、効果・達成度		人工数		コスト		委託等の可否	
	事業の分類								正職員	臨時等	直接事業費		委託	臨時嘱託
	①	児童扶養手当一般事務費(ソフト事業)	18歳未満の児童の監護をする母又は父、又は養育者(児童の父母以外の人)	受給資格者に対し児童扶養手当を支給する。	ひとり親家庭の母又は父に手当を支給する。 受給世帯数見込 1,280世帯	支給人数 1,279人		0	0	1,872		否	否	
	細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input checked="" type="checkbox"/> その他 事務負担が大きい						細事業評価						
	②							A	改善案					
細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他						細事業評価							
								改善案						

事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度		人工数		コスト		委託等の可否	
								正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時	
	③												
	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価							
	細事業の課題						改善案						
	④												
	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価							
	細事業の課題						改善案						

【評価】 Check

課題・問題等	事業開始からの環境変化	前年度までの指摘事項	指摘事項に対する改善状況
	S37.1.1母子福祉年金の補完制度から母子家庭の生活の安定と自立の促進を通じて児童の健全育成を図る目的として児童扶養手当制度創設。H10所得制限の見直し。H14所得額と所得の範囲(養育費を加算等)との関係見直し。法第13条の2(H15.4.1改正)によりH20年から手当て額の減額措置導。H22.8.1より父子家庭も対象となった。		
	細事業の課題・問題点	事業全体の課題・問題点	

所管課評価				
評価	A	A 計画どおりに事業を進めた B 実施方法やコスト等の見直しが必要 C 事業統合や外部委託等による大幅な見直しが必要 D 休止・廃止の検討	評価理由	児童扶養手当法に基づく国の制度である児童扶養手当の支給事務であり、適正に認定事務を行っていく。

評価責任者(所管部長)評価・コメント	
評価	A 児童扶養手当法に基づく児童手当の支給事務であり、計画どおり実施する。

第2次周南市まちづくり総合計画・前期基本計画における位置付け	
施策体系コード	100404
分野	1教育・子育て
基本施策	4子育て環境の充実
推進施策	(4)子育て家庭・ひとり親家庭への支援

【改善】 Action

平成28年度当初予算等での改善結果(平成28年度当初予算への反映など)
人件費以外の予算額を前年度並に抑えた

備考

平成27年度 周南市事務事業評価シート

担当部・課名	子育て支援課	評価者 (課長)	中村 広忠	評価責任者 (部長)	大西 輝政
事務事業コード	513008	事務事業名	子育て短期支援事業	事業の分類	(経常的事務事業) 補助・単独の別 補助 会計名 01一般会計

【事業概要】 Plan

まちづくり総合計画・後期基本計画における位置づけ	分野	Ⅲ 福祉・保健・医療	節(まちの姿)	Ⅲ2 安心して子育てができる	実施計画	×
	基本施策	Ⅲ21 子育て支援の充実	基本方向	子どもと子育てにやさしいまちを目指し、安心して子供を産み育てることができる環境づくりを進めます。	20年度市民評価の満足度	
	推進施策	(4) 子育て家庭・ひとり親家庭への支援			【子育て支援や少子化対策】 22.80%	
	推進施策の展開	—			25年度市民評価の満足度	
事業の目的 (対象、意図)	対象(誰を・何を): 児童を養育することが一時的に困難になった家庭の児童 意図(どういう状態にしたい): 一時的に養育が困難となった児童及びその家庭の福祉の向上を図る 短期入所見込 13人延べ54日 夜間養護見込 0人延べ0日 休日預かり見込 3人延べ3日		事業の内容 (手段)	家庭における児童の養育が一時的に困難となった場合、児童の養育・保護を社会福祉法人に委託する。		

【実施内容】 Do(細事業はDoとCheckを行います。各小事業や細事業の検証にあたっては、別添の検証シートを活用)

事業の実績		利用者は、延べ児童数16人、延べ日数57日				事業費	項目	単位	25年度	26年度	27年度(予算)	28年度(見込)	29年度(見込)
【26年度】							直接事業費	千円	233	562	415	415	415
							(予算額) うち一財	千円	123	272	134	134	134
							直接事業費	千円	617	295		対27年度増減理由	対28年度増減理由
事業目標	目標名	延べ児童数	計算式	達成項目/目標項目		単位	人						
	年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度							
	目標値	15.0	15.0	42.0	42.0	42.0							
	実績値	27.0	42.0	16.0									
	達成度(%)	180.0%	280.0%	38.1%									
事業を構成する細事業【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度		人工数	コスト	委託等の可否			
	①		子育て短期支援事業 (経常的事務事業)	児童の養育が一時的に困難になった家庭の児童	養育・保護する。	児童及びその家庭の福祉の向上を図る。	延べ児童数16人 延べ日数57日	正職員 0.04 臨時等 0	直接事業費 295	委託 可	臨時嘱託 否		
	細事業の課題		<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他 委託先の「共楽養育園」が、県東部唯一の児童養護施設であり、単価改定が困難な状況である(平成26年度は減額改定)。				A	改善案					
	②												
	細事業の課題		<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					改善案					

事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数		コスト		委託等の可否		
	③						正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時		
			<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他									細事業評価	
細事業の課題							改善案						
④													
	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他						細事業評価						
細事業の課題							改善案						

【評価】 Check

課題・問題等	事業開始からの環境変化	児童福祉法による措置を補完する制度で、従来県の出先である児童相談所が所管していた事業が市町村に移管されたもの。以前は母子父子家庭に限定適用されていたが、現在では一般家庭に広げて適用されるようになっている。	前年度までの指摘事項	児童福祉法に基づく制度であり、計画どおりに事業を進める。	指摘事項に対する改善状況	他市の状況等を把握し、その状況を勘案しながら事業を継続する。
	細事業の課題・問題点	利用者は増加傾向にあるが、国が補助単価を減額している。しかし、委託先の「共楽養育園」は県東部唯一の児童養護施設であり、委託先の選択肢がない。平成26年度は単価を切り下げたが、これ以上の切り下げは慎重にならざるをえない。	事業全体の課題・問題点	利用者は増加傾向にあるが、国が補助単価を減額している。しかし、委託先の「共楽養育園」は県東部唯一の児童養護施設であり、委託先の選択肢がない。平成26年度は単価を切り下げたが、これ以上の切り下げは慎重にならざるをえない。		

所管課評価						
評価	A	A 計画どおりに事業を進めた B 実施方法やコスト等の見直しが必要 C 事業統合や外部委託等による大幅な見直しが必要 D 休止・廃止の検討	評価理由	児童福祉法に基づく制度であり、入所は施設に委託しておりコストの削減を図っている。	改善案	-

評価責任者(所管部長)評価・コメント	
評価	A 児童福祉法に基づく制度であり、計画どおりに事業を進める。

第2次周南市まちづくり総合計画・前期基本計画における位置付け	
施策体系コード	100404
分野	1教育・子育て
基本施策	4子育て環境の充実
推進施策	(4)子育て家庭・ひとり親家庭への支援

【改善】 Action

平成28年度当初予算等での改善結果(平成28年度当初予算への反映など)	
前年度同額とした	

備考	

平成27年度 周南市事務事業評価シート

担当部・課名	子育て支援課	評価者 (課長)	中村 広忠	評価責任者 (部長)	大西 輝政
事務事業コード	513055	事務事業名	児童手当	事業の分類	(経常的事務事業) 補助・単独の別 補助 会計名 01一般会計

【事業概要】 Plan

まちづくり総合計画・後期基本計画における位置づけ	分野	Ⅲ 福祉・保健・医療	節(まちの姿)	Ⅲ2 安心して子育てができる	実施計画	×
	基本施策	Ⅲ21 子育て支援の充実	基本方向	子どもと子育てにやさしいまちを目指し、安心して子どもを産み育てることができる環境づくりを進めます。	20年度市民評価の満足度	
	推進施策	(4) 子育て家庭・ひとり親家庭への支援			【子育て支援や少子化対策】	22.80%
	推進施策の展開	乳幼児やひとり親家庭の健康増進と児童の健やかな成長を支援するため、医療費の一部助成を行います。ひとり親家庭の経済的自立支援のための事業に取り組みます。			25年度市民評価の満足度	
					【子育て支援や少子化対策】	33.80%
事業の目的 (対象、意図)	対象(誰を・何を): 中学校修了前までの児童の養育者		意図(どういう状態にしたい): 家庭等における生活の安定に寄与するとともに、次代の社会を担う児童の健やかな成長に資する。		事業の内容 (手段)	中学校終了前の児童の養育者に対し児童手当を支給。

【実施内容】 Do(細事業はDoとCheckを行います。各小事業や細事業の検証にあたっては、別添の検証シートを活用)

事業の実績 【26年度】	受給者に対し、合計で2,399,705,000円を支給した。 受給者10,756人、児童数18,440人					事業費	項目	単位	25年度	26年度	27年度(予算)	28年度(見込)	29年度(見込)			
							直接事業費	千円	2,552,220	2,533,855	2,475,815	2,384,310	2,384,310			
事業目標	目標名	受給者数	計算式	達成項目/目標項目		単位	人	(予算額) うち一財	千円	383,398	382,200	374,078	360,069	360,069		
	年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	直接事業費	千円	2,457,575	2,399,705		対27年度増減理由	対28年度増減理由			
	目標値	11,000.0	11,000.0	10,800.0	10,800.0	10,800.0	(決算額) うち一財	千円	370,847	362,965		扶助費積算減				
	実績値	11,317.0	11,006.0	10,756.0			正職員人件費	千円	9,596	7,987						
	達成度(%)	102.9%	100.1%	99.6%			人工数	人	1.31	1.08	1.06					
							支出コスト	千円	決) 2,467,171	決見) 2,407,692						
事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度		人工数	コスト	委託等の可否						
	① 児童手当 (経常的事務事業)		中学校修了前までの児童の養育者	家庭等における生活の安定に寄与するとともに、次代の社会を担う児童の健やかな成長に資する。	受給者数見込 10,800人	受給者10,756人 児童数18,440人	正職員	1.08	臨時等	2.5	直接事業費	2,399,705	委託	否	臨時嘱託	可
	細事業の課題		<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他			細事業評価										
	②					A	改善案									
細事業の課題		<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他			細事業評価											
						改善案										

事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数		コスト		委託等の可否		
	③												
			正職員	臨時等	直接事業費	委託							
	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価							
	細事業の課題							改善案					
	④												
	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価							
	細事業の課題							改善案					

【評価】 Check

課題・問題等	事業開始からの環境変化	平成24年4月1日こども手当法から移行。同年6月より所得制限が導入された。	前年度までの指摘事項	児童手当法に基づいた手当であり、計画どおり事業を進める。	指摘事項に対する改善状況	-
	細事業の課題・問題点			事業全体の課題・問題点		

所管課評価

評価	A	A 計画どおりに事業を進めた B 実施方法やコスト等の見直しが必要 C 事業統合や外部委託等による大幅な見直しが必要 D 休止・廃止の検討	評価理由	児童手当法に基づく国の制度であり、支給額は児童手当法により定められている。	改善案	-
----	---	--	------	---------------------------------------	-----	---

評価責任者(所管部長)評価・コメント

評価	A	児童手当法に基づいた手当であり、計画どおり事業を進める。
----	---	------------------------------

第2次周南市まちづくり総合計画・前期基本計画における位置付け

施策体系コード	100404
分野	1教育・子育て
基本施策	4子育て環境の充実
推進施策	(4)子育て家庭・ひとり親家庭への支援

【改善】 Action

平成28年度当初予算等での改善結果(平成28年度当初予算への反映など)	
支給対象児童見込数を精査し、91,505千円減額した	

備考

備考	
----	--

事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数		コスト		委託等の可否	
	③						正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時	
	細事業の課題		<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他			細事業評価						
							改善案					
	細事業の課題		<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他			細事業評価						
							改善案					

【評価】 Check

課題・問題等	事業開始からの環境変化	県主導で創設された制度で、所得制限を徐々に緩和し、受給者全体の7割を見ていた。合併を機に、所得制限撤廃により全申請者に助成(通院は制限あり)。県内各市においても、単独で所得制限撤廃や年齢制限拡充を実施する市が増えている。本市では、平成26年8月より制度を拡充し、就学前の医療費について、無料化する。	前年度までの指摘事項	県においては医療費の一部負担が導入されているが、周南市は無料化を継続している。今後も、他市の動向や他の支援制度全体の中で研究を進められたい。	指摘事項に対する改善状況	他市の動向を注視している。
	細事業の課題・問題点	県制度において医療費の一部負担が導入されたが、この一部負担金については、周南市では無料化を継続している。	事業全体の課題・問題点	県制度において医療費の一部負担が導入されたが、この一部負担金については、周南市では無料化を継続している。		

所管課評価

評価	A	A 計画どおりに事業を進めた B 実施方法やコスト等の見直しが必要 C 事業統合や外部委託等による大幅な見直しが必要 D 休止・廃止の検討	評価理由	県主導で創設された制度である。乳幼児を養育する世帯の経済的負担を軽減するとともに、乳幼児の保健の向上に寄与し、福祉の増進を図るために意義のある制度である。	改善案	3歳～就学前児童について、所得制限撤廃を撤廃し就学前児童の医療費を無料化する。
----	---	--	------	---	-----	---

評価責任者(所管部長)評価・コメント

評価	A	乳幼児を養育する世帯の経済的負担を軽減するとともに、乳幼児の保健の向上に寄与し、福祉の増進を図るために意義のある制度であるため、計画どおりに事業を進める。
----	---	---

第2次周南市まちづくり総合計画・前期基本計画における位置付け

施策体系コード	100404
分野	1教育・子育て
基本施策	4子育て環境の充実
推進施策	(4)子育て家庭・ひとり親家庭への支援

【改善】 Action

平成28年度当初予算等での改善結果(平成28年度当初予算への反映など)
28年度からの対象年齢拡充に伴い、市制度部分を新規事業『こども医療助成事業』に組み替え、県補助事業部分であることを明確にした

備考

備考

平成27年度 周南市事務事業評価シート

担当部・課名	子育て支援課	評価者 (課長)	中村 広忠	評価責任者 (部長)	大西 輝政
事務事業コード	513090	事務事業名	子育て世帯臨時特例給付金支給事務費	事業の分類	(ソフト事業) 補助・単独の別 補助 会計名 01一般会計

【事業概要】 Plan

まちづくり総合計画・後期基本計画における位置づけ	分野	Ⅲ 福祉・保健・医療	節(まちの姿)	Ⅲ2 安心して子育てができる	実施計画	×
	基本施策	Ⅲ21 子育て支援の充実	基本方向	子どもと子育てにやさしいまちを目指し、安心して子どもを生み育てることができる環境づくりを進めます。	20年度市民評価の満足度	
	推進施策	(4) 子育て家庭・ひとり親家庭への支援			【子育て支援や少子化対策】	22.80%
	推進施策の展開	乳幼児やひとり親家庭の健康増進と児童の健やかな成長を支援するため、医療費の一部助成を行います。ひとり親家庭の経済的自立支援のための事業に取り組みます。			25年度市民評価の満足度	
					【子育て支援や少子化対策】	33.80%
事業の目的 (対象、意図)	対象(誰を・何を): 児童手当受給対象者		意図(どういう状態にしたい): 消費税率引き上げに伴う子育て世帯の消費の下支えを行う。		事業の内容 (手段)	児童手当(特例給付を除く)の受給対象者に対して、臨時特例的な給付措置を行う。 ・給付金の支給申請受付、審査、認定。

【実施内容】 Do(細事業はDoとCheckを行います。各小事業や細事業の検証にあたっては、別添の検証シートを活用)

事業の実績 【26年度】	対象児童数 16,801人に一人当たり10,000円を支給した						項目	単位	25年度	26年度	27年度(予算)	28年度(見込)	29年度(見込)	
								直接事業費	千円	0	33,795	24,475	0	0
事業目標	目標名	受給者	計算式	達成項目/目標項目		単位	人	(予算額) うち一財	千円	0	0	0	0	
	年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	直接事業費	千円	0	17,172		対27年度増減理由	対28年度増減理由	
	目標値	-	-	19,566.0	19,300.0	-	(決算額) うち一財	千円	0	0		事業廃止		
	実績値	-	-	16,801.0			正職員人件費	千円	0	4,955				
	達成度(%)	-	-	85.9%			人工数	人	0.00	0.67	0.86			
							支出コスト	千円	決) 0	決見) 22,127				
事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度		人工数		コスト		委託等の可否		
	①		子育て世帯臨時特例給付金支給事務費(ソフト事業)	児童手当受給対象者	消費税率引き上げに伴う子育て世帯の消費の下支えを行う。	支給対象児童数 19,566人	支給者児童数 16,801人	正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時嘱託	否	可
	細事業の課題		<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他 消費税増税に伴う臨時的事業として実施				細事業評価							
	②						A	改善案						
	細事業の課題		<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他				細事業評価							
							改善案							

事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度		人工数		コスト		委託等の可否	
								正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時	
	③												
細事業の課題		<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価						
							改善案						
④													
細事業の課題		<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価						
							改善案						

【評価】 Check

課題・問題等	事業開始からの環境変化	平成26年度限り臨時的に行われるとされた事業である。	前年度までの指摘事項	-	指摘事項に対する改善状況	-
	細事業の課題・問題点			事業全体の課題・問題点		

所管課評価						
評価	A	A 計画どおりに事業を進めた B 実施方法やコスト等の見直しが必要 C 事業統合や外部委託等による大幅な見直しが必要 D 休止・廃止の検討	評価理由	消費税率引き上げに伴う臨時的な国の事業であり、支給額等はすべて国の基準で定められている。	改善案	-

評価責任者(所管部長)評価・コメント	
評価	A 消費税率引き上げに伴う臨時的な国の事業であり、国の基準に沿って事業を行った。

第2次周南市まちづくり総合計画・前期基本計画における位置付け	
施策体系コード	100404
分野	1教育・子育て
基本施策	4子育て環境の充実
推進施策	(4)子育て家庭・ひとり親家庭への支援

【改善】 Action

平成28年度当初予算等での改善結果(平成28年度当初予算への反映など)
事業廃止

備考

平成27年度 周南市事務事業評価シート

担当部・課名	子育て支援課	評価者 (課長)	中村 広忠	評価責任者 (部長)	大西 輝政
事務事業コード	513092	事務事業名	子育て世帯臨時特例給付金支給事業	事業の分類	(ソフト事業) 補助・単独の別 補助 会計名 01一般会計

【事業概要】 Plan

まちづくり総合計画・後期基本計画における位置づけ	分野	Ⅲ 福祉・保健・医療	節(まちの姿)	Ⅲ2 安心して子育てができる	実施計画	×
	基本施策	Ⅲ21 子育て支援の充実	基本方向	子どもと子育てにやさしいまちを目指し、安心して子どもを生み育てることができる環境づくりを進めます。	20年度市民評価の満足度	
	推進施策	(4) 子育て家庭・ひとり親家庭への支援			【子育て支援や少子化対策】 22.80%	
	推進施策の展開	乳幼児やひとり親家庭の健康増進と児童の健やかな成長を支援するため、医療費の一部助成を行います。ひとり親家庭の経済的自立支援のための事業に取り組みます。			25年度市民評価の満足度	
					【子育て支援や少子化対策】 33.80%	
事業の目的 (対象、意図)	対象(誰を・何を): 児童手当受給対象者	意図(どういう状態にしたい): 消費税率引き上げに伴う子育て世帯の消費の下支えを行う。	事業の内容 (手段)	児童手当(特例給付を除く)の受給対象者に対して、臨時特例的な給付措置を行う。		

【実施内容】 Do(細事業はDoとCheckを行います。各小事業や細事業の検証にあたっては、別添の検証シートを活用)

事業の実績 【26年度】	対象児童数 16,801人に一人当たり10,000円を支給した						項目	単位	25年度	26年度	27年度(予算)	28年度(見込)	29年度(見込)
								直接事業費	千円	0	195,660	57,900	0
事業目標	目標名	支給児童数	計算式	達成項目/目標項目		単位	人	(予算額) うち一財	千円	0	0	0	0
	年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	直接事業費	千円	0	168,010		対27年度増減理由	対28年度増減理由
	目標値	-	-	19,566.0	19,300.0	-	(決算額) うち一財	千円	0	0		事業廃止	
	実績値	-	-	16,801.0			正職員人件費	千円	0	4,955			
	達成度(%)	-	-	85.9%			人工数	人	0.00	0.67	0.86		
							支出コスト	千円	決) 0	決見) 172,965			
事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度		人工数		コスト		委託等の可否	
	①	子育て世帯臨時特例給付金支給事務費 (ソフト事業)	児童手当受給対象者	消費税率引き上げに伴う子育て世帯の消費の下支えを行う。	支給対象児童数 19,566人	支給者 9,728人 児童数 16,801人		正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時嘱託	
								0.67	1.67	168,010	否	可	
	細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他 消費税増税に伴う臨時的事業として実施						細事業評価					
	②							A	改善案				
細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他						細事業評価						
								改善案					

事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数		コスト		委託等の可否		
	③												
			正職員	臨時等	直接事業費	委託							
	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価							
	細事業の課題							改善案					
	④												
	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価							
	細事業の課題							改善案					

【評価】 Check

課題・問題等	事業開始からの環境変化	平成26年度限り臨時的に行われるとされた事業である。	前年度までの指摘事項	-	指摘事項に対する改善状況	-
	細事業の課題・問題点			事業全体の課題・問題点		

所管課評価						
評価	A	A 計画どおりに事業を進めた B 実施方法やコスト等の見直しが必要 C 事業統合や外部委託等による大幅な見直しが必要 D 休止・廃止の検討	評価理由	消費税率引き上げに伴う臨時的な国の事業であり、支給額等はすべて国の基準で定められている。	改善案	-

評価責任者(所管部長)評価・コメント	
評価	A 消費税率引き上げに伴う臨時的な国の事業であり、国の基準に沿って事業を行った。

第2次周南市まちづくり総合計画・前期基本計画における位置付け	
施策体系コード	100404
分野	1教育・子育て
基本施策	4子育て環境の充実
推進施策	(4)子育て家庭・ひとり親家庭への支援

【改善】 Action

平成28年度当初予算等での改善結果(平成28年度当初予算への反映など)
事業廃止

備考

平成27年度 周南市事務事業評価シート

担当部・課名	子育て支援課	評価者(課長)	中村 広忠	評価責任者(部長)	大西 輝政
事務事業コード	515008	事務事業名	遺児福祉手当	事業の分類	(ソフト事業) 補助・単独の別 単独 会計名 01一般会計

【事業概要】 Plan

まちづくり総合計画・後期基本計画における位置づけ	分野	Ⅲ 福祉・保健・医療	節(まちの姿)	Ⅲ2 安心して子育てができる	実施計画	×
	基本施策	Ⅲ21 子育て支援の充実	基本方向	子どもと子育てにやさしいまちを目指し、安心して子どもを生み育てることができる環境づくりを進めます。	20年度市民評価の満足度	
	推進施策	(4) 子育て家庭・ひとり親家庭への支援			【子育て支援や少子化対策】	22.80%
	推進施策の展開	ひとり親家庭の経済的自立支援のための事業に取り組みます。			25年度市民評価の満足度	【子育て支援や少子化対策】 33.80%
事業の目的(対象、意図)	対象(誰を・何を): 遺児の保護者	意図(どういう状態にしたい): 義務教育終了までの遺児の福祉の増進を図る。 対象児童人数見込 116人	事業の内容(手段)	保護者に対し、遺児一人につき年額30,000円を支給する。ただし、当該年度の9月30日までに転出等により受給資格を喪失したときや、当該年度の10月1日から翌年3月31までに資格取得のときは、遺児一人につき年額15,000円。		

【実施内容】 Do(細事業はDoとCheckを行います。各小事業や細事業の検証にあたっては、別添の検証シートを活用)

事業の実績	平成26年度:年額 1人30,000円(対象児童数89人)						項目	単位	25年度	26年度	27年度(予算)	28年度(見込)	29年度(見込)	
	【26年度】	後半分 1人15,000円(対象児童数1人)						直接事業費	千円	2,985	3,300	3,090	3,000	3,000
事業目標	目標名	対象児童数	計算式	達成項目/目標項目		単位	人	(予算額) うち一財	千円	2,985	3,300	3,090	3,000	3,000
	年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	事業費	直接事業費	千円	3,015	2,640		対27年度増減理由	対28年度増減理由
	目標値	95.0	95.0	116.0	108.0	108.0	(決算額) うち一財	千円	3,015	2,640				
	実績値	107.0	101.0	90.0			正職員人件費	千円	1,758	1,775				
	達成度(%)	112.6%	106.3%	77.6%			人工数	人	0.24	0.24	0.12			
							支出コスト	千円	決) 4,773	決見) 4,415				
事業を構成する細事業【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数	コスト	委託等の可否					
	①	遺児福祉手当事務 (ソフト事業)	遺児(義務教育終了までの児童で、父母の両方又は一方が死亡したもの)	生活費の一部支援。	福祉の増進を図る。	90人の遺児を対象に手当を支給した。	正職員 0.24 臨時等 0	直接事業費 2,640	委託 否	臨時嘱託 否				
	細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input checked="" type="checkbox"/> その他 支給対象児童が年によってばらつきがある					細事業評価	A	改善案	他県・市の状況を勘案しながら、運営したい。				
	②													
	細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input checked="" type="checkbox"/> その他					細事業評価		改善案					

事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数		コスト		委託等の可否	
	③						正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時	
			④									
	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価						
	細事業の課題					改善案						
	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価						
	細事業の課題					改善案						

【評価】 Check

課題・問題等	事業開始からの環境変化	遺児の福祉のために意義ある事業である。 県外には、類似した制度を実施している団体もある。現在ひとり親家庭施策や子育て支援施策の拡充が必要とされており、当面事業を継続したい。	前年度までの指摘事項	他市の状況等を勘案しながら、事業を継続されたい。	指摘事項に対する改善状況	他市の状況等を把握し、その状況を勘案しながら事業を継続する。
	細事業の課題・問題点	特記記事なし		事業全体の課題・問題点	遺児を扶養する母子・父子家庭等は経済的に困窮する家庭が多いため、制度の在り方について他市の状況や他の支援制度全体の中で検討していく。	

所管課評価

評価	A	A 計画どおりに事業を進めた B 実施方法やコスト等の見直しが必要 C 事業統合や外部委託等による大幅な見直しが必要 D 休止・廃止の検討	評価理由	国・県等の補助がない市制度として、遺児(両方または一方が死亡)を養育する家庭に対する支援事業である。市単独事業ではあるが、母子・父子家庭等への施策となっている。	改善案	
----	---	--	------	--	-----	--

評価責任者(所管部長)評価・コメント

評価	A	市単独事業ではあるが、困窮する母子・父子家庭等への施策としての意義は失われておらず継続する。
----	---	--

第2次周南市まちづくり総合計画・前期基本計画における位置付け

施策体系コード	100404
分野	1教育・子育て
基本施策	4子育て環境の充実
推進施策	(4)子育て家庭・ひとり親家庭への支援

【改善】 Action

平成28年度当初予算等での改善結果(平成28年度当初予算への反映など)
支給対象児童見込数を精査し、90千円減額した

備考

備考

平成27年度 周南市事務事業評価シート

担当部・課名	子育て支援課	評価者 (課長)	中村 広忠	評価責任者 (部長)	大西 輝政
事務事業コード	531005	事務事業名	母子自立支援事業	事業の分類	(経常的事務事業)
				補助・単独の別	補助
				会計名	01一般会計

【事業概要】 Plan

まちづくり総合計画・後期基本計画における位置づけ	分野	Ⅲ 福祉・保健・医療	節(まちの姿)	IV1 安心安全に暮らせる	実施計画	×
	基本施策	Ⅲ21 子育て支援の充実	基本方向	子どもと子育てにやさしいまちを目指し、安心して子どもを生み育てることができる環境づくりを進めます。	20年度市民評価の満足度	
	推進施策	(4) 子育て家庭・ひとり親家庭への支援			【子育て支援や少子化対策】	22.80%
	推進施策の展開	ひとり親家庭の経済的自立支援のための事業に取り組みます。			25年度市民評価の満足度	【子育て支援や少子化対策】
事業の目的 (対象、意図)	対象(誰を・何を): ひとり親家庭の母または父	意図(どういう状態にしたい): ひとり親家庭の母または父の就職に有利で、かつ生活の安定に資する資格取得が図られる。また、能力開発の取り組みを支援することにより自立が図られる。 高等技能訓練促進費 受給者見込 20人 自立支援教育訓練給付金 受給者見込 2人	事業の内容 (手段)	●高等技能訓練促進費 看護師、介護福祉士等の資格を取得する期間(2年以上のカリキュラム)、月100,000円(市民税非課税世帯)、月70,500円(市民税課税世帯)を上限2年として支給。 ●自立支援教育訓練給付金 ホームヘルパー等の厚生労働大臣指定の資格取得のための講座受給費用の2割程度を補助する。(10万円以内)		

【実施内容】 Do(細事業はDoとCheckを行います。各小事業や細事業の検証にあたっては、別添の検証シートを活用)

事業の実績 【26年度】	高等技能訓練促進費:19名(正准看護師・介護福祉士・保育士) 自立支援教育訓練給付金:キャリアカウンセラー1名						事業費	項目	単位	25年度	26年度	27年度(予算)	28年度(見込)	29年度(見込)
	直接事業費	千円	23,968	25,700	19,850	16,782		16,782						
事業目標	目標名	給付人数	計算式	達成項目/目標項目	単位	人	(予算額)	うち一財	千円	6,022	6,425	4,963	5,505	5,505
	年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	直接事業費	千円	21,650	21,218		対27年度増減理由	対28年度増減理由	
	目標値	17.0	22.0	22.0	20.0	15.0	(決算額)	うち一財	千円	4,404	5,306	高等職業訓練促進給付金対象者見込の減		
	実績値	18.0	19.0	20.0			正職員人件費	千円	2,344	2,366				
	達成度(%)	105.9%	86.4%	90.9%			人工数	人	0.32	0.32	0.32			
							支出コスト	千円	決) 23,994	決見) 23,584				
事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数		コスト		委託等の可否			
	①	母子自立支援事業 (経常的事務事業)	ひとり親家庭の母または父	就職に有利でかつ生活の安定に資する資格取得を図る。	能力開発の取組みを支援し自立を促進する。	9人の修了者は正看護師5人、准看護師3人、介護福祉士1人として総合病院等に就職し、自立を果たした。	正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時嘱託			
							0.32	0	21,218	否	否			
	細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input checked="" type="checkbox"/> その他 国は「高等技能訓練促進費」の支給額の減額・支給期間圧縮(上限2年)を行ってきており、3年次は「貸付」で修学することとなり、受給者の修学が困難になることが懸念される。					A	改善案						
②														
細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他						改善案							

事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数		コスト		委託等の可否	
	③						正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時	
			細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価			
④												
細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価						
						改善案						

【評価】 Check

課題・問題等	事業開始からの環境変化	前年度までの指摘事項	母子自立支援のための有効な事業であり、積極的なPRに引き続き努められたい。	指摘事項に対する改善状況	市広報及び窓口で周知に努めている。
細事業の課題・問題点	母子家庭自立支援策として効果が高いと思われるので、PR等に努めて事業を推進している状況である。H21年の制度改革後は特に申請が増えていたが、平成25年の制度改革により申請者の減少が見込まれる。				
	国は「高等技能訓練促進費」の支給額の減額・支給期間圧縮(上限2年)を行ってきており、3年次は「貸付」または「自己資金」で修学することとなり、受給者の修学が困難になることが懸念され、3年目の支援が必要である		事業全体の課題・問題点		国は「高等技能訓練促進費」の支給額の減額・支給期間圧縮(上限2年)を行ってきており、3年次は「貸付」または「自己資金」で修学することとなり、受給者の修学が困難になることが懸念され、3年目の支援が必要である

所管課評価

評価	A	A 計画どおりに事業を進めた B 実施方法やコスト等の見直しが必要 C 事業統合や外部委託等による大幅な見直しが必要 D 休止・廃止の検討	評価理由	資格取得後、ほとんどの者が定職に就くため、ひとり親家庭の経済的自立に非常に有効な制度である。	改善案

評価責任者(所管部長)評価・コメント

評価	A	ひとり親家庭の経済的自立に有効な制度であり、計画どおりに事業をすすめる。

第2次周南市まちづくり総合計画・前期基本計画における位置付け

施策体系コード	100404
分野	1教育・子育て
基本施策	4子育て環境の充実
推進施策	(4)子育て家庭・ひとり親家庭への支援

【改善】 Action

平成28年度当初予算等での改善結果(平成28年度当初予算への反映など)
母子寡婦福祉資金貸付事業を統合し、事業を整理した

備考

--

平成27年度 周南市事務事業評価シート

担当部・課名	子育て支援課	評価者 (課長)	中村 広忠	評価責任者 (部長)	大西 輝政
事務事業コード	531010	事務事業名	母子生活支援施設措置委託事業	事業の分類	(経常的事務事業) 補助・単独の別 補助 会計名 01一般会計

【事業概要】 Plan

まちづくり総合計画・後期基本計画における位置づけ	分野	Ⅲ 福祉・保健・医療	節(まちの姿)	Ⅲ2 安心して子育てができる	実施計画	×
	基本施策	Ⅲ21 子育て支援の充実	基本方向	子どもと子育てにやさしいまちを目指し、安心して子どもを生み育てることができる環境づくりを進めます。	20年度市民評価の満足度	
	推進施策	(4) 子育て家庭・ひとり親家庭への支援			【子育て支援や少子化対策】	22.80%
	推進施策の展開	ひとり親家庭の経済的自立支援のための事業に取り組みます。			25年度市民評価の満足度	【子育て支援や少子化対策】 33.80%
事業の目的 (対象、意図)	対象(誰を・何を): 配偶者のない女子又はこれに準ずる事情にある女子及びその者の監護すべき児童	意図(どういう状態にしたい): 母子家庭の自立の促進が図られる。	事業の内容 (手段)	配偶者のない女子又はこれに準ずる事情にある女子及びその者の監護すべき児童の母子生活支援施設への入所を委託する。		

【実施内容】 Do(細事業はDoとCheckを行います。各小事業や細事業の検証にあたっては、別添の検証シートを活用)

事業の実績	【26年度】						事業費	項目	単位	25年度	26年度	27年度(予算)	28年度(見込)	29年度(見込)
	平成26年度0世帯(平成26年3月退所)。								直接事業費	千円	7,269	9,596	4,794	4,795
事業目標	目標名	世帯数	計算式	達成項目/目標項目		単位	世帯	(予算額) うち一財	千円	1,819	2,409	1,207	1,208	1,208
	年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度		直接事業費	千円	4,800	11		対27年度増減理由	対28年度増減理由
	目標値	2.0	2.0	2.0	1.0	1.0		(決算額) うち一財	千円	1,304	3			
	実績値	1.0	1.0	0.0				正職員人件費	千円	1,685	222			
	達成度(%)	50.0%	50.0%	0.0%				人工数	人	0.23	0.03	0.03		
								支出コスト	千円	決) 6,485	決見) 233			
事業を構成する細事業【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度		人工数		コスト		委託等の可否		
	①	母子生活支援施設措置委託事業 (経常的事務事業)	配偶者のない女子又はこれに準ずる事情にある女子及びその者の監護すべき児童	母子家庭の自立の促進が図られる。	母子家庭の自立の促進のためにその生活を支援する。	1世帯入所。自立を支援。 平成26年3月16日退所。	正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時嘱託	可	否	
	細事業の課題		<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他 施設が市外にあるため、市職員による支援はできず、入所施設の職員の支援に任せざるを得ない。			A	改善案							
	②													
	細事業の課題		<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他				改善案							

事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度		人工数		コスト		委託等の可否		
								正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時		
	③													
	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価								
	細事業の課題							改善案						
	④													
	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価								
	細事業の課題							改善案						

【評価】 Check

課題・問題等	事業開始からの環境変化	児童福祉法上の制度であり、状況の変化はない。	前年度までの指摘事項	児童福祉法第23条の規定に基づく事業であり、保護すべき母子世帯の入所先として必要であることから、計画どおり事業を進める。	指摘事項に対する改善状況	-
	細事業の課題・問題点	市外の施設への措置となるため、状況の変化があっても迅速な対応が困難。	事業全体の課題・問題点	市外の施設への措置となるため、状況の変化があっても迅速な対応が困難。		

所管課評価						
評価	A	A 計画どおりに事業を進めた B 実施方法やコスト等の見直しが必要 C 事業統合や外部委託等による大幅な見直しが必要 D 休止・廃止の検討	評価理由	児童福祉法第23条の規定に基づき、母子世帯の児童が福祉に欠ける場合に母子生活支援施設への入所により保護・自立を促進させる制度であり、継続すべき事業である。入所は施設に委託しておりコストの削減を図っている。	改善案	

評価責任者(所管部長)評価・コメント	
評価	A 児童福祉法第23条の規定に基づく事業であり、保護すべき母子世帯の入所先として必要であることから、計画どおり事業を進める。

第2次周南市まちづくり総合計画・前期基本計画における位置付け	
施策体系コード	100404
分野	1教育・子育て
基本施策	4子育て環境の充実
推進施策	(4)子育て家庭・ひとり親家庭への支援

【改善】 Action

平成28年度当初予算等での改善結果(平成28年度当初予算への反映など)
昨年度同様新規1世帯分を計上した

備考

平成27年度 周南市事務事業評価シート

担当部・課名	子育て支援課	評価者 (課長)	中村 広忠	評価責任者 (部長)	大西 輝政
事務事業コード	531011	事務事業名	助産施設措置費委託事業	事業の分類	(経常的事務事業) 補助・単独の別 補助 会計名 01一般会計

【事業概要】 Plan

まちづくり総合計画・後期基本計画における位置づけ	分野	Ⅲ 福祉・保健・医療	節(まちの姿)	IV1 安心安全に暮らせる	実施計画	×
	基本施策	Ⅲ21 子育て支援の充実	基本方向	子どもと子育てにやさしいまちを目指し、安心して子どもを生み育てることができる環境づくりを進めます。	20年度市民評価の満足度	
	推進施策	(4) 子育て家庭・ひとり親家庭への支援			【子育て支援や少子化対策】	22.80%
	推進施策の展開	乳幼児やひとり親家庭の健康増進と児童の健やかな成長を支援するため、医療費の一部助成を行います。ひとり親家庭の経済的自立支援のための事業に取り組みます。			25年度市民評価の満足度	
					【子育て支援や少子化対策】	33.80%
事業の目的 (対象、意図)	対象(誰を・何を): 経済的に入院助産を受けることができない妊産婦	意図(どういう状態にしたい): 衛生的な分娩ができ妊産婦の保健増進が図られる。 措置人数見込 3人	事業の内容 (手段)		経済的に入院助産を受けることができない妊産婦の助産施設への入所を委託する。	

【実施内容】 Do(細事業はDoとCheckを行います。各小事業や細事業の検証にあたっては、別添の検証シートを活用)

事業の実績 【26年度】	平成26年度は0人。						項目	単位	25年度	26年度	27年度(予算)	28年度(見込)	29年度(見込)	
	直接事業費	千円	975	1,463	1,463	1,403								1,403
	(予算額) うち一財	千円	267	401	401	365	365							
事業目標	目標名	人数	計算式	達成項目/目標項目		単位	人	事業費	直接事業費	千円	853	0	対27年度増減理由	対28年度増減理由
	年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	(決算額) うち一財		千円	89	0			
	目標値	2.0	2.0	3.0	3.0	3.0	正職員人件費		千円	293	296			
	実績値	3.0	2.0	0.0			人工数		人	0.04	0.04	0.04		
	達成度(%)	150.0%	100.0%	0.0%			支出コスト		千円	決) 1,146	決見) 296			
事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度		人工数		コスト		委託等の可否		
	①		助産施設措置費委託事業 (経常的事務事業)	経済的に入院助産を受けることができない妊産婦	助産施設に入所させて衛生的な分娩をさせる。	妊産婦の保健増進を図る	H26年度実績は0人。		正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時嘱託	
							0.04	0	0			可	否	
	細事業の課題		<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他 徳山中央病院に委託している。なお、委託料は国の基準で定められている。				細事業評価		A	改善案				
	②													
細事業の課題		<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他				細事業評価			改善案					

事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数		コスト		委託等の可否	
							正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時	
	③											
細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価						
						改善案						
④												
細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価						
						改善案						

【評価】 Check

課題・問題等	事業開始からの環境変化	児童福祉法上の制度であり、創設時点からの状況変化はない。	前年度までの指摘事項	児童福祉法に基づき、経済的に入院助産ができない妊産婦に対する制度であり、入院助産は徳山中央病院に委託することによりコストの削減に努めている。	指摘事項に対する改善状況	-
	細事業の課題・問題点			事業全体の課題・問題点		

所管課評価						
評価	A	A 計画どおりに事業を進めた B 実施方法やコスト等の見直しが必要 C 事業統合や外部委託等による大幅な見直しが必要 D 休止・廃止の検討	評価理由	児童福祉法に基づき、経済的に入院助産ができない妊産婦に対する制度である。また、入院助産は徳山中央病院に委託してコストの削減に努めている。	改善案	-

評価責任者(所管部長)評価・コメント	
評価	A 児童福祉法に基づき、経済的に入院助産ができない妊産婦に対する制度であり、入院助産は徳山中央病院に委託することによりコストの削減に努めている。

第2次周南市まちづくり総合計画・前期基本計画における位置付け	
施策体系コード	100404
分野	1教育・子育て
基本施策	4子育て環境の充実
推進施策	(4)子育て家庭・ひとり親家庭への支援

【改善】 Action

平成28年度当初予算等での改善結果(平成28年度当初予算への反映など)
昨年度同様3人分を計上した

備考

平成27年度 周南市事務事業評価シート

担当部・課名	子育て支援課	評価者 (課長)	中村 広忠	評価責任者 (部長)	大西 輝政
事務事業コード	531014	事務事業名	母子福祉資金等貸付事業	事業の分類	(ソフト事業) 補助・単独の別 補助 会計名 01一般会計

【事業概要】 Plan

まちづくり総合計画・後期基本計画における位置づけ	分野	Ⅲ 福祉・保健・医療	節(まちの姿)	IV1 安心安全に暮らせる	実施計画	×
	基本施策	Ⅲ21 子育て支援の充実	基本方向	子どもと子育てにやさしいまちを目指し、安心して子どもを生み育てることができる環境づくりを進めます。	20年度市民評価の満足度	
	推進施策	(4) 子育て家庭・ひとり親家庭への支援			【子育て支援や少子化対策】	22.80%
	推進施策の展開	ひとり親家庭の経済的自立支援のための事業に取り組みます。			25年度市民評価の満足度	
事業の目的 (対象、意図)	対象(誰を・何を): ひとり親家庭の母または父およびその子ども、父母のいない児童	意図(どういう状態にしたい): 経済的自立を図るための貸付や、子供の修学等の貸付をすることで母子家庭等の生活の安定を図られる。	事業の内容 (手段)	事業・住宅・修学資金等12種類の貸付があり、申請を受け付け県に進達。		

【実施内容】 Do(細事業はDoとCheckを行います。各小事業や細事業の検証にあたっては、別添の検証シートを活用)

事業の実績	【26年度】						事業費	項目	単位	25年度	26年度	27年度(予算)	28年度(見込)	29年度(見込)
	26年度は、就学支度資金2件を県に進達。								直接事業費	千円	1,676	1,739	1,775	0
事業目標	目標名	貸付進達件数	計算式	達成項目/目標項目	単位	件数	(予算額)	うち一財	千円	1,547	1,599	1,635	0	0
	年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	直接事業費	千円	1,664	1,678		対27年度増減理由	対28年度増減理由	
	目標値	25.0	25.0	25.0	10.0	10.0	(決算額)	うち一財	千円	1,533	1,547	母子自立支援事業と統合		
	実績値	33.0	13.0	2.0			正職員人件費	千円	879	887				
	達成度(%)	132.0%	52.0%	8.0%			人工数	人	0.12	0.12	0.22			
							支出コスト	千円	決) 2,543	決見) 2,565				
事業を構成する細事業【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度		人工数		コスト		委託等の可否		
	①	母子福祉資金等貸付事業 (ソフト事業)	ひとり親家庭の母または父およびその子ども、父母のいない児童	経済的自立を図るための貸付や子どもの修学等の貸付を進達する。	生活安定を図る。	26年度は、就学支度資金2件を県に進達。		正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時嘱託		
	細事業の課題		<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他 県の事務の「窓口」という役割であり、実際の貸付の可否決定は県が行うため、県の意向で進達件数が左右される要素が大きい。また、母子自立支援員が業務を担当しているが貸付事務だけでなく過去の滞納整理まで行うため業務量が多く、母子自立支援員としての本来の業務(ひとり親家庭への自立支援)を圧迫している側面がある。			A	改善案	県の事務の「窓口」のため、市独自で改善するのは難しい。						
	②													
細事業の課題		<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					改善案	細事業評価						

事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度		人工数		コスト		委託等の可否	
								正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時	
	③												
<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他						細事業評価							
細事業の課題							改善案						
④													
<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他						細事業評価							
細事業の課題							改善案						

【評価】 Check

課題・問題等	事業開始からの環境変化	一定の相談件数はあるが、過去分の返済滞りにより県の審査が厳しくなっている。	前年度までの指摘事項	母子家庭・寡婦家庭が自立するうえで必要な制度であり、計画どおり事業を進める。	指摘事項に対する改善状況	-
	細事業の課題・問題点	県の事務の「窓口」という役割であり、実際の貸付の可否決定は県が行うため、県の意向で進捗件数が左右される要素が大きい。また、母子自立支援員が業務を担当しているが貸付に関する業務量が多く、母子自立支援員としての本来の業務（ひとり親家庭への自立支援）を圧迫している側面がある。	事業全体の課題・問題点	県の事務の「窓口」という役割であり、実際の貸付の可否決定は県が行うため、県の意向で進捗件数が左右される要素が大きい。また、母子自立支援員が業務を担当しているが貸付に関する業務量が多く、母子自立支援員としての本来の業務（ひとり親家庭への自立支援）を圧迫している側面がある。		

所管課評価

評価	A	A 計画どおりに事業を進めた B 実施方法やコスト等の見直しが必要 C 事業統合や外部委託等による大幅な見直しが必要 D 休止・廃止の検討	評価理由	母子家庭・寡婦家庭の経済的自立の助成と生活意欲の助長を図り、あわせてその扶養している児童の福祉の増進のため必要な事業で、嘱託職員の活用によりコストを削減している。	改善案	
----	---	--	------	---	-----	--

評価責任者(所管部長)評価・コメント

評価	A	ひとり親家庭が自立するうえで必要な制度であり、計画どおり事業を進める。
----	---	-------------------------------------

第2次周南市まちづくり総合計画・前期基本計画における位置付け

施策体系コード	100404
分野	1教育・子育て
基本施策	4子育て環境の充実
推進施策	(4)子育て家庭・ひとり親家庭への支援

【改善】 Action

平成28年度当初予算等での改善結果(平成28年度当初予算への反映など)	
母子自立支援事業と統合し、事業を整理した。	

備考

備考

平成27年度 周南市事務事業評価シート

担当部・課名	子育て支援課	評価者 (課長)	中村 広忠	評価責任者 (部長)	大西 輝政
事務事業コード	531026	事務事業名	児童扶養手当	事業の分類	(経常的事務事業) 補助・単独の別 補助 会計名 01一般会計

【事業概要】 Plan

まちづくり総合計画・後期基本計画における位置づけ	分野	Ⅲ 福祉・保健・医療	節(まちの姿)	Ⅲ2 安心して子育てができる	実施計画	×
	基本施策	Ⅲ21 子育て支援の充実	基本方向	子どもと子育てにやさしいまちを目指し、安心して子どもを産み育てることができる環境づくりを進めます。	20年度市民評価の満足度	
	推進施策	(4) 子育て家庭・ひとり親家庭への支援			【子育て支援や少子化対策】	22.80%
	推進施策の展開	乳幼児やひとり親家庭の健康増進と児童の健やかな成長を支援するため、医療費の一部助成を行います。ひとり親家庭の経済的自立支援のための事業に取り組みます。			25年度市民評価の満足度	
					【子育て支援や少子化対策】	33.80%
事業の目的 (対象、意図)	対象(誰を・何を): 18歳未満の児童の監護をする母又は父、又は養育者(児童の父母以外の人)		意図(どういう状態にしたい): ひとり親家庭等の経済的安定と自立の促進が図られる。 受給世帯数見込 1,300世帯		事業の内容 (手段)	●父又は母と生計を同じくしていない児童の養育者に対して、経済的安定と自立の促進を図るため手当を支給。

【実施内容】 Do(細事業はDoとCheckを行います。各小事業や細事業の検証にあたっては、別添の検証シートを活用)

事業の実績	【26年度】						事業費	項目	単位	25年度	26年度	27年度(予算)	28年度(見込)	29年度(見込)
	対象者 1,415人 全部支給 635人、一部支給 644人、全部停止 136人								直接事業費	千円	574,045	573,325	574,643	569,341
事業目標	目標名	受給者数	計算式	達成項目/目標項目		単位	人	(予算額) うち一財	千円	382,697	382,217	383,096	379,561	379,561
	年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度		直接事業費	千円	572,396	561,723		対27年度増減理由	対28年度増減理由
	目標値	1,200.0	1,280.0	1,300.0	1,300.0	1,300.0		(決算額) うち一財	千円	381,674	374,482		扶助費積算減	
	実績値	1,286.0	1,291.0	1,279.0				正職員人件費	千円	9,596	7,173			
	達成度(%)	107.2%	100.9%	98.4%				人工数	人	1.31	0.97	1.11		
								支出コスト	千円	決) 581,992	決見) 568,896			
事業を構成する細事業【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度		人工数		コスト		委託等の可否		
	①	児童扶養手当 (経常的事務事業)	18歳未満の児童の監護をする母又は父、又は養育者(児童の父母以外の人)	ひとり親家庭の経済的安定と自立の促進を図る	ひとり親家庭の母又は父に手当を支給する。 受給世帯数見込 1,300世帯	支給人数 1,279人	正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時嘱託	否	否	
	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他						細事業評価							
	細事業の課題						A	改善案						
	②													
<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他						細事業評価								
細事業の課題						改善案								

事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数		コスト		委託等の可否	
	③						正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時	
			④									
	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価						
	細事業の課題					改善案						
	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価						
	細事業の課題					改善案						

【評価】 Check

課題・問題等	事業開始からの環境変化	前年度までの指摘事項	児童扶養手当支給に係る事務費であり、事務の効率化を図りながら適正に執行されたい。	指摘事項に対する改善状況
	S37.1.1母子福祉年金の補完制度から母子家庭の生活の安定と自立の促進を通じて児童の健全育成を図る目的として児童扶養手当制度創設。H10所得制限の見直し。H14所得額と所得の範囲(養育費を加算等)との関係見直し。法第13条の2(H15.4.1改正)によりH20年から手当て額の減額措置導入。H22.8.1より父子家庭も対象となった。			-
	細事業の課題・問題点		事業全体の課題・問題点	

所管課評価						
評価	A	A 計画どおりに事業を進めた B 実施方法やコスト等の見直しが必要 C 事業統合や外部委託等による大幅な見直しが必要 D 休止・廃止の検討	評価理由	児童扶養手当法に基づく制度であり、ひとり親家庭等の経済的支援施策として有効である。児童扶養手当法に基づく国制度であり、今後も国制度に基づき事業を実施していきたい。	改善案	-

評価責任者(所管部長)評価・コメント	
評価	A 児童扶養手当法に基づいた手当であり、計画どおり事業を進める。

第2次周南市まちづくり総合計画・前期基本計画における位置付け	
施策体系コード	100404
分野	1教育・子育て
基本施策	4子育て環境の充実
推進施策	(4)子育て家庭・ひとり親家庭への支援

【改善】 Action

平成28年度当初予算等での改善結果(平成28年度当初予算への反映など)
受給者数伸び率や制度改正を加味して精査し、5,302千円減額した。

備考

平成27年度 周南市事務事業評価シート

担当部・課名	子育て支援課	評価者 (課長)	中村 広忠	評価責任者 (部長)	大西 輝政
事務事業コード	532005	事務事業名	母子福祉団体等助成事業	事業の分類	(ソフト事業) 補助・単独の別 単独 会計名 01一般会計

【事業概要】 Plan

まちづくり総合計画・後期基本計画における位置づけ	分野	Ⅲ 福祉・保健・医療	節(まちの姿)	Ⅳ1 安心安全に暮らせる	実施計画	×
	基本施策	Ⅲ21 子育て支援の充実	基本方向	子どもと子育てにやさしいまちを目指し、安心して子どもを産み育てることができる環境づくりを進めます。	20年度市民評価の満足度	
	推進施策	(4) 子育て家庭・ひとり親家庭への支援			【子育て支援や少子化対策】	22.80%
	推進施策の展開	ひとり親家庭の経済的自立支援のための事業に取り組みます。			25年度市民評価の満足度	
					【子育て支援や少子化対策】	33.80%
事業の目的 (対象、意図)	対象(誰を・何を): 母子寡婦の母及び子女により構成される周南市母子寡婦福祉連合会	意図(どういう状態にしたい): 会員相互の生活の向上、子女の健全育成と母子寡婦の福祉の増進を図られる。	事業の内容 (手段)	周南市母子寡婦福祉連合会へ補助金支払。		

【実施内容】 Do(細事業はDoとCheckを行います。各小事業や細事業の検証にあたっては、別添の検証シートを活用)

事業の実績 【26年度】	周南市母子寡婦福祉連合会へ補助金387,000円を補助した。						項目	単位	25年度	26年度	27年度(予算)	28年度(見込)	29年度(見込)
							直接事業費	千円	387	387	387	387	387
事業目標	目標名	会員数	計算式	達成項目/目標項目	単位	人	(予算額)	うち一財	千円	387	387	387	387
	年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	直接事業費	千円	387	387		対27年度増減理由	対28年度増減理由
	目標値	182.0	169.0	169.0	150.0	150.0	(決算額)	うち一財	千円	387	387		
	実績値	169.0	160.0	144.0			正職員人件費	千円	220	222			
	達成度(%)	92.9%	94.7%	85.2%			人工数	人	0.03	0.03	0.04		
							支出コスト	千円	決) 607	決見) 609			
事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数		コスト		委託等の可否		
	①		周南市母子寡婦福祉連合会活動費補助事業(ソフト事業)	母子寡婦の母及び子女により構成される周南市母子寡婦福祉連合会	「会員相互の生活の向上を目指し、子女の健全育成と母子寡婦の福祉の増進を図ることを目的とする」	当該団体の活動の拡充と育成を図り、母子寡婦家庭の福祉の増進を図る。	周南市母子寡婦福祉連合会へ補助金387,000円を補助した。	正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時嘱託	
								0.03	0	387	否	否	
	細事業の課題		<input type="checkbox"/> 妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他 若年層の入会が減少し、役員が高齢化している。				B	改善案	団体の会員数や事業内容を精査し補助金額を見直す。				
	②												
細事業の課題		<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					改善案	細事業評価					

事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数		コスト		委託等の可否	
	③						正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時	
			<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他									細事業評価
	細事業の課題						改善案					
	④											
	細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価					
							改善案					

【評価】 Check

課題・問題等	事業開始からの環境変化	地域の子育てや母と子の良好な関係を保つためのサポートは近年重要度を増してきている。その中で「山口県母子寡婦福祉連合会」は他地区の団体との連携を図りながら、子育てのための環境作りに貢献している。	前年度までの指摘事項	会員数の減少、会員の高齢化に伴い団体の運営事務は困難になっている。母子家庭等の福祉増進は必要であるが、本事業での支援が有効であるか検証し、見直しを図る必要がある。	指摘事項に対する改善状況	団体の会員数や事業内容を精査し補助金額を見直す。
	細事業の課題・問題点	若年層の入会が減少しているため、役員が高齢化している傾向がある。		事業全体の課題・問題点	若年層の入会が減少しているため、役員が高齢化している傾向がある。	

所管課評価

評価	B	A 計画どおりに事業を進めた B 実施方法やコスト等の見直しが必要 C 事業統合や外部委託等による大幅な見直しが必要 D 休止・廃止の検討	評価理由	母子家庭、寡婦家庭の連携と協同により子育てを支援する地域社会づくりを推進する事業として、その有効性を検証しながら支援していきたい。	改善案	団体の会員数や事業内容を精査し補助金額を見直す。
----	---	--	------	---	-----	--------------------------

評価責任者(所管部長)評価・コメント

評価	B	母子家庭、寡婦家庭の連携と協同により子育てを支援する地域社会づくりを推進する事業として必要であり、実施方法やコスト等を見直しのうえ継続する。
----	---	--

第2次周南市まちづくり総合計画・前期基本計画における位置付け

施策体系コード	100404
分野	1教育・子育て
基本施策	4子育て環境の充実
推進施策	(4)子育て家庭・ひとり親家庭への支援

【改善】 Action

平成28年度当初予算等での改善結果(平成28年度当初予算への反映など)	
前年度同額とした。	

備考

備考	
----	--

平成27年度 周南市事務事業評価シート

担当部・課名	福祉部 子育て支援課	評価者 (課長)	中村 広忠	評価責任者 (部長)	大西 輝政
事務事業コード	513005	事務事業名	地域組織活動育成事業	事業の分類	(経常的事務事業) 補助・単独の別 単独 会計名 01一般会計

【事業概要】 Plan

まちづくり総合計画・後期基本計画における位置づけ	分野	Ⅲ 福祉・保健・医療	節(まちの姿)	Ⅲ2 安心して子育てができる	実施計画	×
	基本施策	Ⅲ21 子育て支援の充実	基本方向	子どもと子育てにやさしいまちを目指し、安心して子どもを生み育てることができる環境づくりを進めます。	20年度市民評価の満足度	
	推進施策	(1) 子育て支援サービスの充実			【子育て支援や少子化対策】	22.80%
	推進施策の展開	関係機関や民間事業者との連携、子育て関係団体・サークルの育成に努め、子育て支援ネットワークを強化します。			25年度市民評価の満足度	
					【子育て支援や少子化対策】	33.80%
事業の目的 (対象、意図)	対象(誰を・何を): ○母親クラブ ○子育てサークル等の地域組織等	意図(どういう状態にしたい): ○地域住民の積極的な参加による地域組織活動団体に対し補助金を交付することにより、活動の促進を通じて、子育て支援ネットワークの強化を図ることで、家庭児童の健全な育成に寄与する。	事業の内容 (手段)	○山口県大会への参加 ○会員、リーダーに対する研修会への参加 ○独自行事の開催		

【実施内容】 Do(細事業はDoとCheckを行います。各小事業や細事業の検証にあたっては、別添の検証シートを活用)

事業の実績 【26年度】	・山口県大会(出席者:15名)、リーダー研修会(出席者:10名)、その他県・市地域活動連絡協議会に係る会議・研修(出席者:112名) ・各クラブ独自の行事開催、参加(クラブ数:9)…10,669名						事業費	項目	単位	25年度	26年度	27年度(予算)	28年度(見込)	29年度(見込)
	直接事業費	千円	851	851	0	0		0						
事業目標	目標名	事業年間参加人数	計算式	カウント式	単位	人	(予算額)	うち一財	千円	851	851	0	0	0
	年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	(決算額)	うち一財	千円	851	851			
	目標値	15,000.0	15,000.0	15,000.0	15,000.0	15,000.0	正職員人件費	千円	733	370				
	実績値	15,535.0	9,159.0	10,806.0			人工数	人	0.10	0.05				
	達成度(%)	103.6%	61.1%	72.0%			支出コスト	千円	決) 1,584	決見) 1,221				
事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数		コスト		委託等の可否			
	①	母親クラブ育成費補助事業 (経常的事務事業)	母親クラブ、子育て支援サークル等の地域組織	地域組織活動の促進を通じて、子育てネットワークの強化を図る	子育て関係団体、サークルの育成に努め、子育て支援ネットワークを強化する。	・定例会(8回開催) ・山口県大会出席(15名) ・リーダー研修会参加(10名)	正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時嘱託			
							0.05	0	851	否	否			
細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他 現在、補助対象の団体のほとんどで、補助率が事業費の1/2を超えている(H26:7団体)が、国、県の補助が廃止となったこともあり、各クラブの金銭面での負担感が増している。					A	改善案							

【評価】 Check

課題・問題等	事業開始からの環境変化	○平成25年度より県費補助金(地域組織活動育成事業補助金)廃止。 ○同一小学校区内の組織の統合を図り、15団体から、H24年度に10団体、H25年度に9団体となった。(徳山地域:4団体、新南陽地域:2団体、熊毛地域:3団体)	前年度までの指摘事項	各団体の活動内容を精査し、各団体に自主財源の確保に努めるよう指導しながら、適正な執行に努める。	指摘事項に対する改善状況	各団体の活動内容を精査し、補助金の適正な執行に努めた。
	細事業の課題・問題点	現在、補助対象の団体のほとんどで、補助率が事業費の1/2を超えている(H26:7団体)が、国、県の補助が廃止となったこともあり、各クラブの金銭面での負担感が増している。	事業全体の課題・問題点	地域の子育てや、母と子の良好な関係を保つためのサポートは重要度を増してきている。その中で、各地区の母親クラブは他地区の団体との連携を図りながら子育てのための環境づくりに貢献しているが、補助金が減額したこともあり、各クラブとも金銭面での負担感が増している。		

所管課評価

評価	A	A 計画どおりに事業を進めた B 実施方法やコスト等の見直しが必要 C 事業統合や外部委託等による大幅な見直しが必要 D 休止・廃止の検討	評価理由	今後も、各団体の活動内容を精査し、事業の有効性を検証しながら補助金の適正な執行に努める。	改善案	
----	---	--	------	--	-----	--

評価責任者(所管部長)評価・コメント

評価	A	今後も引き続き、各団体の活動内容を精査し、各団体に自主財源の確保に努めるよう指導しながら、適正な執行に努める。
----	---	---

第2次周南市まちづくり総合計画・前期基本計画における位置付け

施策体系コード*	100401
分野	1教育・子育て
基本施策	4子育て環境の充実
推進施策	(1)子育て支援サービスの充実

【改善】 Action

平成28年度当初予算等での改善結果(平成28年度当初予算への反映など)

平成27年度より、「地域組織活動育成事業費」「ちびっこ広場設置事業費」「児童福祉団体等助成事業費」「次世代育成支援行動計画事業費」の4事業を統合し、「児童総務事業一般事務費」に組み替え
--

備考

--

平成27年度 周南市事務事業評価シート

担当部・課名	福祉部 子育て支援課	評価者 (課長)	中村 広忠	評価責任者 (部長)	大西 輝政
事務事業コード	513006	事務事業名	ちびっこ広場設置事業	事業の分類	(施設等管理運営事業) 補助・単独の別 単独 会計名 01一般会計

【事業概要】 Plan

まちづくり総合計画・後期基本計画における位置づけ	分野	Ⅲ 福祉・保健・医療	節(まちの姿)	Ⅲ2 安心して子育てができる	実施計画	×
	基本施策	Ⅲ21 子育て支援の充実	基本方向	子どもと子育てにやさしいまちを目指し、安心して子どもを生み育てることができる環境づくりを進めます。	20年度市民評価の満足度	
	推進施策	(1) 子育て支援サービスの充実			【子育て支援や少子化対策】	22.80%
	推進施策の展開	—			25年度市民評価の満足度	【子育て支援や少子化対策】
事業の目的 (対象、意図)	対象(誰を・何を): ○周南市民 ○広場利用者及び広場施設	意図(どういう状態にしたい): 補助金の交付により、地域の子育てについての拠点の確保・整備を通じて、児童の健康増進と安全確保を図る。	事業の内容 (手段)	自治会等、地域が子どもの健康増進、安全確保のために実施する事業に対し補助金を交付する。		

【実施内容】 Do(細事業はDoとCheckを行います。各小事業や細事業の検証にあたっては、別添の検証シートを活用)

事業の実績	補助実績:なし						項目	単位	25年度	26年度	27年度(予算)	28年度(見込)	29年度(見込)	
	【26年度】													
事業目標	目標名	ちびっこ広場整備補助年間件数		計算式	カウント式		事業費	直接事業費	千円	29	29	0	0	0
	年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度		(予算額) うち一財	千円	29	29	0	0	0
	目標値	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0		直接事業費	千円	10	0		対27年度増減理由	対28年度増減理由
	実績値	0.0	1.0	0.0				(決算額) うち一財	千円	10	0		平成27年度より児童総務事業一般事務費へ統合	
	達成度(%)	0.0%	100.0%	0.0%				正職員人件費	千円	73	74			
							人工数	人	0.01	0.01				
							支出コスト	千円	決) 83	決見) 74				
事業を構成する細事業【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数		コスト		委託等の可否			
	①	ちびっこ広場設置費補助事業 (施設等管理運営事業)	市民、広場利用者及び広場施設	地域の子育ての拠点の確保・整備の補助を行い、児童の安全確保と健全育成に寄与する。	安全な遊び場を整備することで、児童の健全育成のため、環境づくりを推進する。	補助件数:0件	正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時嘱託			
		<input type="checkbox"/> 妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他	事業実績がなく、目標達成のための事業の見直しが必要である。				0.01	0	0	否	否			
細事業の課題							B	改善案	管理者、管理状況、使用状況等の把握を行い、事業の有効性についての検証を行う。					

【評価】 Check

課題・問題等	事業開始からの環境変化	市民が安心して利用できるレクリエーションの場としての「ちびっこ広場」は重要であるが、近年、生活環境の変化等を要因として利用頻度の低下が見受けられるようになっている。	前年度までの指摘事項	事業実績は殆どない状況であるが、地域が進める「安全な遊び場」づくりに対し、行政が支援を行い、安全な遊び場の整備を促進することで、児童の健全育成の環境づくりを進めることについては、一定の事業価値が認められる。	指摘事項に対する改善状況	引き続き、児童の健全育成の環境づくりを推進する。
	細事業の課題・問題点			事業全体の課題・問題点		事業実績がなく、目標達成のための事業の見直しが必要である。

所管課評価

評価	B	A 計画どおりに事業を進めた B 実施方法やコスト等の見直しが必要 C 事業統合や外部委託等による大幅な見直しが必要 D 休止・廃止の検討	評価理由	児童育成環境の整備として有効な事業であるが、実施方法についての見直しを図る。	改善案	管理者、管理状況、使用状況等の把握を行い、事業の有効性についての検証を行う。
----	---	--	------	--	-----	--

評価責任者(所管部長)評価・コメント

評価	B	地域が進める「安全な遊び場」づくりに対し、行政が支援を行い、安全な遊び場の整備を促進することで、児童の健全育成の環境づくりを進めることについては、一定の事業価値が認められる。
----	---	---

第2次周南市まちづくり総合計画・前期基本計画における位置付け

施策体系コード	100401
分野	1教育・子育て
基本施策	4子育て環境の充実
推進施策	(1)子育て支援サービスの充実

【改善】 Action

平成28年度当初予算等での改善結果(平成28年度当初予算への反映など)

平成27年度より、「地域組織活動育成事業費」「ちびっこ広場設置事業費」「児童福祉団体等助成事業費」「次世代育成支援行動計画事業費」の4事業を統合し、「児童総務事業一般事務費」に組み替え
--

備考

--

平成27年度 周南市事務事業評価シート

担当部・課名	福祉部 子育て支援課	評価者 (課長)	中村 広忠	評価責任者 (部長)	大西 輝政
事務事業コード	513011	事務事業名	児童福祉団体等助成事業	事業の分類	(ソフト事業) 補助・単独の別 単独 会計名 01一般会計

【事業概要】 Plan

まちづくり総合計画・後期基本計画における位置づけ	分野	Ⅲ 福祉・保健・医療	節(まちの姿)	Ⅲ2 安心して子育てができる	実施計画	×
	基本施策	Ⅲ21 子育て支援の充実	基本方向	子どもと子育てにやさしいまちを目指し、安心して子どもを生み育てることができる環境づくりを進めます。	20年度市民評価の満足度	
	推進施策	(1) 子育て支援サービスの充実			【子育て支援や少子化対策】 22.80%	
	推進施策の展開	—			25年度市民評価の満足度	
					【子育て支援や少子化対策】 33.80%	
事業の目的 (対象、意図)	対象(誰を・何を): ○山口県周南里親会 ○同会会員		意図(どういう状態にしたい): 里親相互の連絡が密となるよう補助することで、受託児童の福祉の増進を図り、里親制度の推進に寄与する。		事業の内容 (手段)	山口県周南里親会に対し、補助金を交付する。

【実施内容】 Do(細事業はDoとCheckを行います。各小事業や細事業の検証にあたっては、別添の検証シートを活用)

事業の実績		補助金額:50,000円(均等割:10,000円+人口割40,000円)				事業費	項目	単位	25年度	26年度	27年度(予算)	28年度(見込)	29年度(見込)
【26年度】							直接事業費	千円	48	48	0	0	0
							(予算額) うち一財	千円	48	48	0	0	0
事業目標	目標名	会員数の前年比	計算式	会員数/前年会員数×100	単位	%	直接事業費	千円	48	48		対27年度増減理由	対28年度増減理由
	年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	(決算額) うち一財	千円	48	48		平成27年度より児童総務事業一般事務費へ統合	
	目標値	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	正職員人件費	千円	73	74			
	実績値	100.0	112.1	100.0			人工数	人	0.01	0.01			
	達成度(%)	100.0%	112.1%	100.0%			支出コスト	千円	決) 121	決見) 122			
事業を構成する細事業【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数		コスト		委託等の可否		
	①	児童福祉団体等助成事業費	山口県周南里親会、同会会員	里親相互の連絡が密となるよう補助することで、受託児童の福祉の増進を図り、里親制度の推進に寄与する。	山口周南里親会の活動の充実と育成を図る。	会員数:37名(H25年度:37名)	正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時嘱託		
		(ソフト事業)					0.01	0	48	否	否		
細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価							
						A	改善案						

【評価】 Check

課題・問題等	事業開始からの環境変化	山口周南里親会は他地区の団体との連携を図りながら、里親制度の推進と子育てのための環境づくりに貢献している。	前年度までの指摘事項	当該団体の財政状況及び、近隣市の状況も勘案しながら、適切な支援に努める。	指摘事項に対する改善状況	補助基準に基づき、適正な補助金の執行に努めた。
	細事業の課題・問題点			事業全体の課題・問題点		

所管課評価

評価	A	A 計画どおりに事業を進めた B 実施方法やコスト等の見直しが必要 C 事業統合や外部委託等による大幅な見直しが必要 D 休止・廃止の検討	評価理由	子育て支援をする地域づくりの事業として、有効性を検証しながら支援を行う。	改善案	
----	---	--	------	--------------------------------------	-----	--

評価責任者(所管部長)評価・コメント

評価	A	当該団体の財政状況及び、近隣市の状況も勘案しながら、適切な支援に努める。
----	---	--------------------------------------

第2次周南市まちづくり総合計画・前期基本計画における位置付け

施策体系コード*	100401
分野	1教育・子育て
基本施策	4子育て環境の充実
推進施策	(1)子育て支援サービスの充実

【改善】 Action

平成28年度当初予算等での改善結果(平成28年度当初予算への反映など)

平成27年度より、「地域組織活動育成事業費」「ちびっこ広場設置事業費」「児童福祉団体等助成事業費」「次世代育成支援行動計画事業費」の4事業を統合し、「児童総務事業一般事務費」に組み替え
--

備考

--

平成27年度 周南市事務事業評価シート

担当部・課名	福祉部 子育て支援課	評価者 (課長)	中村 広忠	評価責任者 (部長)	大西 輝政
事務事業コード	513018	事務事業名	次世代育成支援行動計画事業	事業の分類	(経常的事務事業) 補助・単独の別 単独 会計名 01一般会計

【事業概要】 Plan

まちづくり総合計画・後期基本計画における位置づけ	分野	Ⅲ 福祉・保健・医療	節(まちの姿)	Ⅲ2 安心して子育てができる	実施計画	×
	基本施策	Ⅲ21 子育て支援の充実	基本方向	子どもと子育てにやさしいまちを目指し、安心して子どもを生み育てることができる環境づくりを進めます。	20年度市民評価の満足度	
	推進施策	(1) 子育て支援サービスの充実			【子育て支援や少子化対策】	22.80%
	推進施策の展開	○地域子育て拠点施設(子育て支援センター等)の拡充を図るとともに、地域で子育てを応援する機運を醸成する。 ○関係機関や民間事業者との連携、子育て関係団体・サークルの育成に努め、子育て支援ネットワークの強化を図る。 ○延長保育、一時保育(一時預かり)、障害児保育、休日保育、病児・病後児保育など、保護者の様々な保育ニーズに対し、きめ細やかな対応に努める。 ○保護者のニーズを踏まえながら、児童クラブの施設・保育内容の充実に努める。 ○子どもに関する総合相談窓口の体制整備を行うとともに、相談員の資質の向上に努め、子どもや保護者等からの相談に対して、迅速かつ適切に対応する。 ○児童虐待など要保護児童の早期発見・早期支援のため、要保護児童対策地域協議会を構成する関係機関・団体等とのネットワークを強化する。			25年度市民評価の満足度	
					【子育て支援や少子化対策】	33.80%
事業の目的 (対象、意図)	対象(誰を・何を): 周南市民	意図(どういう状態にしたい): 様々な分野にまたがる子どもに関する施策を、効果的かつ機動的に展開し、地域子育て拠点の拡充による、地域で子育てを応援する機運の醸成を図るとともに、関係団体等との連携、子育て関係団体・サークルの育成により、子育て支援ネットワークの強化を図る。	事業の内容 (手段)	○周南市子どもプランに基づき、各事業の目標に係る進捗管理を行う。 ○子ども・子育て支援関連3法に基づく、平成27年度から5箇年を計画期間とする、子ども・子育て支援事業計画の策定に係る審議を行う。		

【実施内容】 Do(細事業はDoとCheckを行います。各小事業や細事業の検証にあたっては、別添の検証シートを活用)

事業の実績 【26年度】	周南市子ども育成支援対策審議会の開催 審議会開催回数:8回(6/23、8/6、9/16、11/26、12/24、1/26、2/16、3/19)						項目	単位	25年度	26年度	27年度(予算)	28年度(見込)	29年度(見込)
								直接事業費	千円	302	583	0	0
事業目標	目標名	数値目標事業達成割合	計算式	達成数/事業数	単位	%	(予算額)	うち一財	千円	302	583	0	0
	年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	直接事業費	千円	254	399	対27年度増減理由		対28年度増減理由
	目標値	60.0	65.0	70.0			(決算額)	うち一財	千円	254	399	平成27年度より児童総務事業一般事務費へ統合	
	実績値	43.0	57.0				正職員人件費	千円	4,029	1,479			
	達成度(%)	71.7%	87.7%				人工数	人	0.55	0.20			
							支出コスト	千円	決) 4,283	決見) 1,878			
事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度		人工数		コスト		委託等の可否	
	①	次世代育成支援行動計画事業	周南市民	次期子ども・子育て支援事業計画策定に係る審議	実施が必須とされている、子ども・子育て支援に係るニーズ調査に係る調査内容の審議	周南市子ども育成支援審議会開催(8回)	正職員	臨時等	399	否	否		
		(経常的事務事業)					0.2	0					
	細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他						細事業評価					
							A	改善案					

事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数		コスト		委託等の可否	
	②						正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時	
	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価						
	細事業の課題						改善案					
	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価						
	細事業の課題						改善案					

【評価】 Check

課題・問題等	事業開始からの環境変化	平成24年8月の子ども・子育て支援関連3法の成立による、平成27年度より子ども子育て支援新制度への移行に伴い、平成27年度より5箇年を計画期間とする、新たな子ども・子育て支援事業計画の策定を行った。	前年度までの指摘事項	諮問機関である「周南市子ども育成支援対策審議会」と連携して、周南市子どもプランの進行管理を確実に実施するとともに、新たな子ども・子育て支援事業計画の策定を行う。	指摘事項に対する改善状況	周南市子ども育成支援対策審議会と連携し、事業を実施した。
	細事業の課題・問題点			事業全体の課題・問題点		

所管課評価						
評価	A	A 計画どおりに事業を進めた B 実施方法やコスト等の見直しが必要 C 事業統合や外部委託等による大幅な見直しが必要 D 休止・廃止の検討	評価理由	市長の諮問機関である「周南市子ども育成支援対策審議会」と連携し、周南市子どもプランにおける各事業の効果的な進捗と、新たな子ども・子育て支援事業計画の策定を進めた。	改善案	

評価責任者(所管部長)評価・コメント	
評価	A 市長の諮問機関である「周南市子ども育成支援対策審議会」と連携し、周南市子どもプランにおける各事業の効果的な進捗と、新たな子ども・子育て支援事業計画の策定を進めた。

第2次周南市まちづくり総合計画・前期基本計画における位置付け	
施策体系コード	100401
分野	1教育・子育て
基本施策	4子育て環境の充実
推進施策	(1)子育て支援サービスの充実

【改善】 Action

平成28年度当初予算等での改善結果(平成28年度当初予算への反映など)
平成27年度より、「地域組織活動育成事業費」「ちびっこ広場設置事業費」「児童福祉団体等助成事業費」「次世代育成支援行動計画事業費」の4事業を統合し、「児童総務事業一般事務費」に組み替え

備考

平成27年度 周南市事務事業評価シート

担当部・課名	福祉部 子育て支援課	評価者 (課長)	中村 広忠	評価責任者 (部長)	大西 輝政
事務事業コード	513019	事務事業名	子ども・子育て支援事業計画策定事業	事業の分類	(経常的事務事業) 補助・単独の別 単独 会計名 01一般会計

【事業概要】 Plan

まちづくり総合計画・後期基本計画における位置づけ	分野	Ⅲ 福祉・保健・医療	節(まちの姿)	Ⅲ2 安心して子育てができる	実施計画	×
	基本施策	Ⅲ21 子育て支援の充実	基本方向	子どもと子育てにやさしいまちを目指し、安心して子どもを生み育てることができる環境づくりを進めます。	20年度市民評価の満足度	
	推進施策	(1) 子育て支援サービスの充実			【子育て支援や少子化対策】	22.80%
	推進施策の展開	平成25・26年度において、子ども・子育て支援関連3法に基づく平成27年度から5か年を計画期間とする、子ども・子育て支援事業計画の策定を行う。			25年度市民評価の満足度	
					【子育て支援や少子化対策】	33.80%
事業の目的 (対象、意図)	対象(誰を・何を): ○周南市民	意図(どういう状態にしたい): ○ニーズ調査に基づく適正な教育・保育施設、地域型保育事業所、地域子ども・子育て支援事業等に係る事業量を算定し、これに基づき平成31年度までの5か年における確保方策も策定することで、質の高い幼児期の教育・保育の提供、保育の量的拡大と確保、及び地域子ども・子育て支援の充実を図る。		事業の内容 (手段)	○平成25年度中に就学前児童及び小学校児童の保護者を対象としたニーズ調査を実施。 ○ニーズ調査結果に基づき教育・保育施設、地域型保育事業所、地域子ども・子育て支援事業等に係る事業量を算定。 ○教育・保育提供地域ごとの事業量に応じて、平成31年度までの5か年で需要量を満たすよう、各サービスの確保方策も盛り込んだ事業計画を策定する。(期限:平成27年3月末)	

【実施内容】 Do(細事業はDoとCheckを行います。各小事業や細事業の検証にあたっては、別添の検証シートを活用)

事業の実績 【26年度】	平成27年度から5か年を計画期間とした「周南市子ども・子育て支援事業計画」を策定						事業費	項目	単位	25年度	26年度	27年度(予算)	28年度(見込)	29年度(見込)
									直接事業費	千円	3,266	2,149	0	0
事業目標	目標名	計算式	単位			事業費	(予算額) うち一財	千円	0	2,149	0	0	0	
	年度	24年度	25年度	26年度	27年度		28年度	直接事業費	千円	3,259	2,148	対27年度増減理由		対28年度増減理由
	目標値							(決算額) うち一財	千円	0	2,148	平成26年度で事業終了		
	実績値							正職員人件費	千円	2,564	2,588			
	達成度(%)							人工数	人	0.35	0.35			
								支出コスト	千円	決) 5,823	決見) 4,736			
事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数		コスト		委託等の可否			
	① 子ども・子育て支援事業計画策定事業費(ソフト事業)		周南市民	子ども・子育て支援事業計画の策定	子ども子育て新制度への移行が行われる平成27年4月までに計画を策定する。	計画の策定	正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時嘱託	可	否	
			□ 妥当性 □ 有効性 □ 効率性 □ コスト □ その他		細事業評価									
	細事業の課題				A	改善案								
	②				細事業評価									
細事業の課題						改善案								

事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度		人工数		コスト		委託等の可否		
								正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時		
	③													
	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価								
	細事業の課題							改善案						
④														
	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価								
	細事業の課題							改善案						

【評価】 Check

課題・問題等	事業開始からの環境変化	平成25・26年度において、子ども・子育て支援関連3法に基づく平成27年度から5か年を計画期間とする、子ども・子育て支援事業計画の策定を行う。	前年度までの指摘事項	平成27年4月からの子ども・子育て支援新制度への移行に向けて、事業計画の策定を着実に進めていく。	指摘事項に対する改善状況	新制度への移行に向け、事業計画策定を着実に実施。
	細事業の課題・問題点			事業全体の課題・問題点		

所管課評価						
評価	A	A 計画どおりに事業を進めた B 実施方法やコスト等の見直しが必要 C 事業統合や外部委託等による大幅な見直しが必要 D 休止・廃止の検討	評価理由	新制度への移行に向け、事業計画策定を着実に実施した。	改善案	

評価責任者(所管部長)評価・コメント	
評価	A 新制度への移行に向け、事業計画策定を着実に実施した。

第2次周南市まちづくり総合計画・前期基本計画における位置付け	
施策体系コード	100401
分野	1教育・子育て
基本施策	4子育て環境の充実
推進施策	(1)子育て支援サービスの充実

【改善】 Action

平成28年度当初予算等での改善結果(平成28年度当初予算への反映など)
平成26年度で事業計画策定業務は終了

備考

平成27年度 周南市事務事業評価シート

担当部・課名	福祉部 子育て支援課	評価者 (課長)	中村 広忠	評価責任者 (部長)	大西 輝政
事務事業コード	513023	事務事業名	児童館運営事業	事業の分類	(施設等管理運営事業) 補助・単独の別 単独 会計名 01一般会計

【事業概要】 Plan

まちづくり総合計画・後期基本計画における位置づけ	分野	Ⅲ 福祉・保健・医療	節(まちの姿)	Ⅲ2 安心して子育てができる	実施計画	×
	基本施策	Ⅲ21 子育て支援の充実	基本方向	子どもと子育てにやさしいまちを目指し、安心して子どもを生み育てることができる環境づくりを進めます。	20年度市民評価の満足度	
	推進施策	(1) 子育て支援サービスの充実			【子育て支援や少子化対策】	22.80%
	推進施策の展開	—			25年度市民評価の満足度	【子育て支援や少子化対策】 33.80%
事業の目的(対象、意図)	対象(誰を・何を): ○18歳未満の児童 ○児童の保護者 ○児童の健全育成のための団体	意図(どういう状態にしたい): 子どもに健全な遊びを与え、健康を増進し、情操を豊かにするとともに、遊びの体験を通じて、子どもの自主性、創造性、社会性を育てる。	事業の内容(手段)	児童福祉法に基づく児童厚生施設として、児童厚生員を配置し、各種講座を開催		

【実施内容】 Do(細事業はDoとCheckを行います。各小事業や細事業の検証にあたっては、別添の検証シートを活用)

事業の実績 【26年度】	【利用者数】 ・富田東児童館 : 24,615人、・福川南児童館:12,380人 ・尚白園児童館: 5,786人 ・東福祉館児童館 : 10,946人、・櫛浜児童館 : 24,561人					事業費	項目	単位	25年度	26年度	27年度(予算)	28年度(見込)	29年度(見込)			
	直接事業費	千円	46,328	46,540	44,754		45,795	45,795								
事業目標	目標名	年間利用者数	計算式	カウント式	単位	人	(予算額) うち一財	千円	46,328	46,540	44,754	45,790	45,790			
	年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	直接事業費	千円	46,052	44,098		対27年度増減理由	対28年度増減理由			
	目標値	77,500.0	77,500.0	77,500.0	77,500.0	77,500.0	(決算額) うち一財	千円	46,052	44,098		櫛浜コミュニティセンター廃止(H27.9月末)に伴う櫛浜児童館指定管理料の増額				
	実績値	83,070.0	74,390.0	78,288.0			正職員人件費	千円	1,465	1,849						
	達成度(%)	107.2%	96.0%	101.0%			人工数	人	0.20	0.25	0.45					
							支出コスト	千円	決) 47,517	決見) 45,947						
事業を構成する細事業【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数		コスト		委託等の可否					
	① 児童館運営事業 (施設等管理運営事業)		周南市民、児童館利用者	地域や子どものニーズに即した居場所の提供	周南市子どもプランにおける目標達成に向けての施策の進捗管理。	年間利用者数:78,288人(5館)	正職員	0.15	臨時等	0	直接事業費	1,289	委託	可	臨時嘱託	可
	細事業の課題		<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input checked="" type="checkbox"/> その他 今後の施設の在り方について検討していく必要がある。			B	改善案	施設の在り方についての検討を行う。								
	② 児童館運営委託事業 (施設等管理運営事業)		周南市社会福祉協議会	利用者ニーズの把握と、施設の運営、管理	施設目的の効果的な達成	児童館5館、指定管理者制度導入(周南市社会福祉協議会)	正職員	0.1	臨時等	0	直接事業費	42,809	委託	可	臨時嘱託	可
	細事業の課題		<input type="checkbox"/> 妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他 平成27年度で指定管理期間が終了することから、平成28年度以降の児童館の管理運営についての検討が急務である。			B	改善案	平成28年度以降については、選定方法も含め見直しを行う。								

【評価】 Check

課題・問題等	事業開始からの環境変化	指定管理施設であり、周南市社会福祉協議会により効率的・効果的に管理運営が行われている。【指定管理期間：H23～H27(5か年)】	前年度までの指摘事項	乳幼児から小中学生が集える地域の子育て拠点として、今後も地域や子どものニーズに即した居場所を提供する必要性は高まっているが、老朽化が進んでいる施設もあることから、今後の事業の在り方については、他事業との統合、転換も含め検討を行う必要がある。	指摘事項に対する改善状況	他事業との統合も視野に入れ、指定管理終了後の管理運営についての協議を継続して行った。
	細事業の課題・問題点			事業全体の課題・問題点		平成27年度で指定管理期間が終了することから、平成28年度以降の児童館の管理運営についての検討が急務である。

所管課評価

評価	B	A 計画どおりに事業を進めた B 実施方法やコスト等の見直しが必要 C 事業統合や外部委託等による大幅な見直しが必要 D 休止・廃止の検討	評価理由	児童館の機能と役割の見直しを検討し、新たな児童館の運営のあり方や適正配置の考え方について、地域と関係機関が連携し協議を行う必要がある。	改善案	子育て支援拠点施設への移行を視野に入れた検討を行う。
----	---	--	------	---	-----	----------------------------

評価責任者(所管部長)評価・コメント

評価	B	児童館の機能と役割の見直しを検討し、新たな児童館の運営のあり方や適正配置の考え方について、地域と関係機関が連携し協議を行う必要がある。
----	---	---

第2次周南市まちづくり総合計画・前期基本計画における位置付け

施策体系コード	100401
分野	1教育・子育て
基本施策	4子育て環境の充実
推進施策	(1)子育て支援サービスの充実

【改善】 Action

平成28年度当初予算等での改善結果(平成28年度当初予算への反映など)
併設する榎浜コミュニティセンターの廃止(H27.9月末)に伴い、榎浜児童館指定管理料を増額(+1,763千円)

備考

備考

平成27年度 周南市事務事業評価シート

担当部・課名	福祉部 子育て支援課	評価者 (課長)	中村 広忠	評価責任者 (部長)	大西 輝政
事務事業コード	513033	事務事業名	地域子育て支援拠点事業	事業の分類	(経常的事務事業) 補助・単独の別 補助 会計名 01一般会計

【事業概要】 Plan

まちづくり総合計画・後期基本計画における位置づけ	分野	Ⅲ 福祉・保健・医療	節(まちの姿)	Ⅲ2 安心して子育てができる	実施計画	×
	基本施策	Ⅲ21 子育て支援の充実	基本方向	子どもと子育てにやさしいまちを目指し、安心して子どもを生み育てることができる環境づくりを進めます。	20年度市民評価の満足度	
	推進施策	(1) 子育て支援サービスの充実			【子育て支援や少子化対策】 22.80%	
	推進施策の展開	○地域子育て支援拠点施設(子育て支援センター等)の拡充を図るとともに、地域で子育てを応援する機運を醸成します。 ○関係機関や民間事業者との連携、子育て関係団体・サークルの育成を努め、子育て支援ネットワークを強化します。			25年度市民評価の満足度	
		【子育て支援や少子化対策】 33.80%				
事業の目的 (対象、意図)	対象(誰を・何を): ○市内に居住する0歳から3歳までの乳幼児 ○4歳以上の未就園児 ○対象児童の保護者	意図(どういう状態にしたい): 各地域で、親子がともに遊ぶ場や、交流の場を提供するとともに、子育てに関する相談や情報を提供し、子育てに不安や悩みを持つ親を支援する。	事業の内容 (手段)	施設ごとに開所時間を設定し、年間計画による季節行事、運動遊びなどのミニイベントや子育て講習会等を開催するとともに、日頃親子が自由に来館し、ふれあえる場を提供。また、子育てに関する相談や情報提供、子育てサークル等への支援にも対応。		

【実施内容】 Do(細事業はDoとCheckを行います。各小事業や細事業の検証にあたっては、別添の検証シートを活用)

事業の実績 【26年度】	○子育て交流センター(1か所) ○子育て支援センター(10か所:公共施設 5か所、社会福祉法人委託 5か所) 26年度延べ利用者数:68,152人						事業費	項目	単位	25年度	26年度	27年度(予算)	28年度(見込)	29年度(見込)
								直接事業費	千円	63,930	63,830	65,502	69,741	69,741
事業目標	目標名	年間利用者数	計算式	達成項目/目標項目	単位	%	(予算額)	うち一財	千円	28,476	18,844	21,832	23,232	23,232
	年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	直接事業費	千円	63,516	62,314		対27年度増減理由	対28年度増減理由	
	目標値	77,500.0	77,500.0	77,500.0	66,920.0	66,920.0	(決算額)	うち一財	千円	29,808	17,334		出張ひろば事業等の展開に伴う嘱託報酬(1名)の増額及び嘱託報酬単価の改定による増額	
	実績値	79,436.0	73,758.0	68,152.0			正職員人件費	千円	11,354	9,466				
	達成度(%)	102.5%	95.2%	87.9%			人工数	人	1.55	1.28	1.54			
							支出コスト	千円	決) 74,870	決見) 71,780				
事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数		コスト		委託等の可否			
	①	地域子育て支援拠点事業	市内に居住する0歳から3歳までの乳幼児及び未就園児とその保護者。	親子がともに遊ぶ場や交流の場や、子育てに関する相談や情報の提供をし、子育てに不安や悩みを持つ親を支援する	地域子育て支援拠点施設の拡充と、地域での子育てを応援する機運の醸成。	延べ利用者数:68,152人 うち、公立利用者:43,465人	正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時嘱託			
		(経常的事務事業)					1.2	19	29,074	可	可			
細事業の課題	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他 H27年度から開始する子ども・子育て支援事業計画の目標値の実現と、地域バランスを考慮した実施回数等の調整を図る必要がある。					B	改善案	H27年度から開始する子ども・子育て支援事業計画の目標値である市内全域(12エリア)で事業を実施するため、支援センターを常設していない地域に出張ひろばを開設する。						

事業を構成する細事業【26年度実績】	②	地域子育て支援拠点委託事業 (施設等管理運営事業)	私立保育園 5箇所 (一般型:5箇所)	親子がともに遊ぶ場や交流の場や、子育てに関する相談や情報の提供をし、子育てに不安や悩みを持つ親を支援する	地域子育て支援拠点施設の拡充と、地域での子育てを応援する機運の醸成。	延べ利用者数:68,152人 うち、私立利用者:24,687人	0.08	0	33,240	可	可
	細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他				細事業評価					
新南陽地区は公立2箇所を含め計5箇所の支援センターがあり、他地域との整合性も鑑み、実施回数等、サービス量の調整を図る必要がある。						B	改善案	H27年度から開始する子ども・子育て支援事業計画の目標値である市内全域(12エリア)で事業を実施するため、支援センターを常設していない地域に出張ひろばを開設する。			

【評価】 Check

課題・問題等	事業開始からの環境変化	○県整備目標として、全ての地域で利用者が身近にサービスを利用できる体制を整備。平成22年度より児童環境づくり基盤整備事業費補助金より、次世代育成支援対策交付金に移行したことにより、市財源割合が補助対象事業費の1/2となる。 ○平成25年度からは子育て支援特別対策事業補助金(安心こども基金)へ移行。補助率については変更なし。 ○平成26年度からは、保育緊急確保事業費補助金へ移行し、市財源割合は補助対象経費の1/3となる。	前年度までの指摘事項	年間8万に前後の利用者があり、未就学児の居場所として、また、親子が共に遊び、交流する場として、一定の機能を果たしている。新規の整備計画については、周南市全域での適正な配置と、財政状況を勘案し検討する。	指摘事項に対する改善状況	地域からの強い要望を受け、支援センター未設置エリアの一つである北部地区で、月1回の子育てひろばを試験的に実施し、住民ニーズを検証した結果、H27年度当初予算にて、子育てひろば対応職員の人件費を計上。
	細事業の課題・問題点			事業全体の課題・問題点		周南市全域において、未就学児の居場所としての適正な施設の再配置を検討する必要がある。

所管課評価

評価	B	A 計画どおりに事業を進めた B 実施方法やコスト等の見直しが必要 C 事業統合や外部委託等による大幅な見直しが必要 D 休止・廃止の検討	評価理由	親子がともに遊ぶ場、親同士の交流の場として一定の機能を果たしているが、各地域における適正な施設の配置等、サービス量の適正化を図る必要はある。	改善案	H27年度から開始する子ども・子育て支援事業計画の目標値である市内全域(12エリア)で事業を実施するため、支援センターを常設していない地域に出張ひろばを開設する。
----	---	--	------	--	-----	---

評価責任者(所管部長)評価・コメント

評価	B	未就学児の居場所として、また、親子がともに遊ぶ場、親同士の交流の場として一定の機能を果たしているが、各地域における適正な施設の配置等、サービス量の適正化を図る必要はある。
----	---	---

第2次周南市まちづくり総合計画・前期基本計画における位置付け

施策体系コード	100401
分野	1教育・子育て
基本施策	4子育て環境の充実
推進施策	(1)子育て支援サービスの充実

【改善】 Action

平成28年度当初予算等での改善結果(平成28年度当初予算への反映など)	
出張ひろば事業等の展開に伴う嘱託報酬の増額及び嘱託報酬単価の改定による増額(+4,600千円)	

備考

備考	
----	--

平成27年度 周南市事務事業評価シート

担当部・課名	福祉部 子育て支援課	評価者(課長)	中村 広忠	評価責任者(部長)	大西 輝政
事務事業コード	513041	事務事業名	ファミリーサポートセンター運営事業	事業の分類	(経常的事務事業) 補助・単独の別 補助 会計名 01一般会計

【事業概要】 Plan

まちづくり総合計画・後期基本計画における位置づけ	分野	Ⅲ 福祉・保健・医療	節(まちの姿)	Ⅲ2 安心して子育てができる	実施計画	×	
	基本施策	Ⅲ21 子育て支援の充実	基本方向	子どもと子育てにやさしいまちを目指し、安心して子どもを生み育てることができる環境づくりを進めます。	20年度市民評価の満足度		
	推進施策	(1) 子育て支援サービスの充実			【子育て支援や少子化対策】	22.80%	
	推進施策の展開	○地域子育て支援拠点施設(子育て支援センター等)の拡充を図るとともに、地域で子育てを応援する機運を醸成します。 ○関係機関や民間事業者との連携、子育て関係団体・サークルの育成を努め、子育て支援ネットワークを強化します。			25年度市民評価の満足度		
		【子育て支援や少子化対策】			33.80%		
事業の目的(対象、意図)	対象(誰を・何を): ○周南市民 ○0歳～小学生までの子どもの保護者 ○自宅で子どもを預かるなどの子育て支援が可能な成人	意図(どういう状態にしたい): 地域において育児の援助が必要な人と、提供できる人の調整・橋渡しの業務を行うことにより、子育て世帯の男女労働者の子育ての両立と、働きやすい環境づくりを行い、児童の福祉の向上を図る。	事業の内容(手段)	育児の援助が必要な人と、提供できる人を会員登録し、アドバイザーが中心となり、地域における相互援助活動等の調整を行い、保護者の仕事と子育ての両立支援を行う。			

【実施内容】 Do(細事業はDoとCheckを行います。各小事業や細事業の検証にあたっては、別添の検証シートを活用)

事業の実績【26年度】	○会員数:1,075人 ○活動回数:2,419件 ○主な活動内容:児童クラブへの送迎および終了後の預かり、保育所・幼稚園への送迎および終了後の預かり						事業費	項目	単位	25年度	26年度	27年度(予算)	28年度(見込)	29年度(見込)
	直接事業費	千円	3,210	7,577	6,976	7,080		7,080						
事業目標	目標名	会員数	計算式	達成項目/目標項目	単位	%	(予算額)	うち一財	千円	3,105	2,527	2,326	2,360	2,360
	年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	直接事業費	千円	5,863	6,852		対27年度増減理由	対28年度増減理由	
	目標値	1,150.0	1,200.0	1,250.0	1,090.0	1,105.0	(決算額)	うち一財	千円	2,964	2,286			
	実績値	1,185.0	1,115.0	1,075.0			正職員人件費	千円	1,099	3,476				
	達成度(%)	103.0%	92.9%	86.0%			人工数	人	0.15	0.47	0.41			
							支出コスト	千円	決) 6,962	決見) 10,328				
事業を構成する細事業【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数		コスト		委託等の可否			
	①	ファミリーサポートセンター運営事業	周南市民、ファミリーサポートセンター利用者	周南市子ども・子育て支援事業計画の目標達成に向けての施策の進捗管理。	育児の援助が必要な人と、提供できる人の調整・橋渡しを行い、仕事と子育ての両立を図り、働きやすい環境づくりを推進する。	○会員数:1,075人 ○活動回数:2,419件	正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時嘱託			
							0.47	4	6,852	可	可			
	細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他 提供会員の登録数が、依頼会員に比べて低く、登録会員の少ない地域がある。					B	改善案	○会員確保にむけたPRに努める。 ○会員のスキルアップのための研修を実施し、適正なサービスの提供を図る。					
②														
細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他						改善案	細事業評価						

事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数		コスト		委託等の可否	
	③						正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時	
			細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価			
④												
細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価						
						改善案						

【評価】 Check

課題・問題等	事業開始からの環境変化	家庭、地域における子育て支援機能が低下している中、今後ますます多様化する保育ニーズに対応し、社会全体で子育て家庭の支援を行う事業の一つとして期待されている。	前年度までの指摘事項	<input type="checkbox"/> 保護者の仕事と子育ての両立を支援し、働きやすい環境づくりのための一定の機能は果たしている。 <input type="checkbox"/> 多様化する保育ニーズに対応するため、アドバイザー、提供会員のスキルアップの必要性が高まっている。	指摘事項に対する改善状況	<input type="checkbox"/> 事業に関する一層のPRの実施 <input type="checkbox"/> ニーズに合わせた的確な会員同士を仲介を行うために、H26年度に会員管理システムを導入
	細事業の課題・問題点	提供会員の確保と、スキルアップ。	事業全体の課題・問題点	提供会員の確保と、スキルアップ。		

所管課評価

評価	B	A 計画どおりに事業を進めた B 実施方法やコスト等の見直しが必要 C 事業統合や外部委託等による大幅な見直しが必要 D 休止・廃止の検討	評価理由	家庭や地域における子育て支援機能低下を補い、社会全体で安心して子育てが出来るようにするため一定の機能を果たしている。	改善案	<input type="checkbox"/> H26年度に導入した会員管理システムの統計を活用し、地域ごとに会員確保のための対応策を検討。 <input type="checkbox"/> 提供会員のスキルアップを図るために、定期的な研修を実施。
----	---	--	------	--	-----	--

評価責任者(所管部長)評価・コメント

評価	B	保護者の仕事と子育ての両立を支援し、働きやすい環境づくりのための一定の機能は果たしている。引き続き、多様化する保育ニーズに対応するため、アドバイザー、提供会員のスキルアップを図る。
----	---	--

第2次周南市まちづくり総合計画・前期基本計画における位置付け

施策体系コード	100401
分野	1教育・子育て
基本施策	4子育て環境の充実
推進施策	(1)子育て支援サービスの充実

【改善】 Action

平成28年度当初予算等での改善結果(平成28年度当初予算への反映など)
嘱託報酬単価の改定による増額(+99千円)

備考

備考

平成27年度 周南市事務事業評価シート

担当部・課名	福祉部 子育て支援課	評価者 (課長)	中村 広忠	評価責任者 (部長)	大西 輝政
事務事業コード	513044	事務事業名	児童クラブ事業	事業の分類	(施設等管理運営事業) 補助・単独の別 補助 会計名 01一般会計

【事業概要】 Plan

まちづくり総合計画・後期基本計画における位置づけ	分野	Ⅲ 福祉・保健・医療	節(まちの姿)	Ⅲ2 安心して子育てができる	実施計画	×
	基本施策	Ⅲ21 子育て支援の充実	基本方向	子どもと子育てにやさしいまちを目指し、安心して子どもを生み育てることができる環境づくりを進めます。	20年度市民評価の満足度	
	推進施策	(2) 保育サービスの充実			【子育て支援や少子化対策】 22.80%	
	推進施策の展開	保護者のニーズを踏まえながら、児童クラブの施設・保育内容の充実に努めます。			25年度市民評価の満足度	
					【子育て支援や少子化対策】 33.80%	
事業の目的 (対象、意図)	対象(誰を・何を): 保護者が就労等により昼間家庭にいない児童	意図(どういう状態にしたい): 児童クラブを実施することにより、児童の安心安全な居場所づくりを提供する。	事業の内容 (手段)	保護者が仕事や病気などにより家庭での保育ができない場合、授業終了後及び長期休業中に、小学1年生から4年生までの児童を対象に、専用施設や小学校余裕教室、児童館等で、学童保育を実施する。		

【実施内容】 Do(細事業はDoとCheckを行います。各小事業や細事業の検証にあたっては、別添の検証シートを活用)

事業の実績 【26年度】	○24か所、37児童クラブ(延長実施児童クラブ 31クラブ) ○平日:放課後～午後6時まで(延長:午後6時～午後7時) ○土曜日・長期休業中:午前8時～午後6時まで(延長:午後6時～午後7時) ○延べ入会人数 2,099人(1年679人、2年646人、3年447人、4年以上327人)						事業費	項目	単位	25年度	26年度	27年度(予算)	28年度(見込)	29年度(見込)
	直接事業費	千円	197,658	206,529	214,675	233,583		233,583						
事業目標	目標名	児童クラブ定員数	計算式	カウント式	単位	人	(予算額)	うち一財	千円	55,204	59,727	59,960	64,290	64,290
	年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	直接事業費	千円	181,214	178,203				
	目標値	1,510.0	1,510.0	1,510.0	1,530.0	1,530.0	(決算額)	うち一財	千円	41,803	49,951			
	実績値	1,435.0	1,475.0	1,475.0			正職員人件費	千円	8,131	9,170				
	達成度(%)	95.0%	97.7%	97.7%			人工数	人	1.11	1.24	1.00			
							支出コスト	千円	決) 189,345	決見) 187,373				
事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数		コスト		委託等の可否			
	①	児童クラブ運営事業 (施設等管理運営事業)	市内の各小学校に通学する小学校1年生～4年生	児童クラブを実施することにより、児童の安心安全な居場所づくりを提供する。	児童クラブの施設・保育内容の充実	○延べ利用者:2,099人 ○減免申請:485人 ○延長利用申請:367人 ○臨時・嘱託職員数:236人、研修:6回、延べ137人参加	正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時嘱託			
							1.14	228.75	140,595	可	可			
	細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他 ○都市部においては、児童クラブ入会者が年々増加しており、余裕教室の確保が急務である。 ○児童クラブの適正な管理運営のため、専門的な知識や技能を有する人材の確保及び育成が必要である。					C	改善案	外部委託等も視野に入れ、関係機関の連携を強化し、今後の児童クラブ運営について十分協議を行う。					
	②	児童クラブ運営委託事業 (施設等管理運営事業)	○社会福祉協議会 ○米光保育所	児童クラブを実施することにより、児童の安心安全な居場所づくりを提供する。	児童クラブの施設・保育内容の充実	委託料 社会福祉協議会:35,307,995円 米光保育所:2,300,000円	0.1		37,608	可	可			
細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					A	改善案							

事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数		コスト		委託等の可否		
	③						正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時		
			④										
	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価							
	細事業の課題						改善案						
	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価							
	細事業の課題						改善案						

【評価】 Check

課題・問題等	事業開始からの環境変化	前年度までの指摘事項	事業全体の課題・問題点	指摘事項に対する改善状況
	○H20 保育料の見直し(24,000円/年⇒35,000円)、延長保育の実施 ○H21 クラブ数24⇒34に分割(余裕教室の利用 8教室から18教室へ) ○H25 保育料日割り計算の実施 ○H27 平成24年の児童福祉法改正により、対象年齢を「おおむね10歳未満」から「小学校に就学している」児童とした(平成27年4月施行)		○都市部においては、児童クラブ入会者が年々増加しており、余裕教室の確保が急務である。 ○児童クラブの適正な管理運営のため、専門的な知識や技能を有する人材の確保及び育成が必要である。	市民ニーズが高い事業であり、継続的・安定的に事業が続けられるよう、管理運営体制の拡充が必要である。また、学校の余裕教室利用も協体制が構築できたことから、事業本来の福祉部所管に戻すべきと考える。
				対象が小学6年生まで拡大されたことに伴い、更なる需要量の拡大が見込まれることから、教育機関の協力を得ながら余裕教室の確保を行い、ニーズ量への的確な対応を図るとともに、運営内容、配慮を要する児童に対応する受入体制の充実、及び指導員の確保を図る必要がある。

所管課評価

評価	理由	改善案
C	A 計画どおりに事業を進めた B 実施方法やコスト等の見直しが必要 C 事業統合や外部委託等による大幅な見直しが必要 D 休止・廃止の検討	共働き家庭やひとり親家庭にとっては必要不可欠な事業であり、継続して事業を進めるが、外部委託等も視野に入れた児童クラブ運営についての検討が必要である。
		外部委託等も視野に入れ、関係機関の連携を強化し、今後の児童クラブ運営について十分協議を行う。

評価責任者(所管部長)評価・コメント

評価	C	共働き家庭やひとり親家庭にとっては必要不可欠な事業であり、継続して事業を進めるが、外部委託等も視野に入れた児童クラブ運営についての検討が必要である。
----	---	--

第2次周南市まちづくり総合計画・前期基本計画における位置付け

施策体系コード	100402
分野	1教育・子育て
基本施策	4子育て環境の充実
推進施策	(2)保育サービスの質・量の拡充

【改善】 Action

平成28年度当初予算等での改善結果(平成28年度当初予算への反映など)

専門アドバイザー設置に伴う嘱託報酬(+1,847千円)、保育士賃金単価の改定による増額(+3,497千円)、新規開設及び長期休業期間中の臨時開設に伴う補助業務委託料(+7,260千円)、徳山小C教室開設に伴う県総合庁舎会議室借上料嘱託報酬(+2,000千円)、

備考

備考

平成27年度 周南市事務事業評価シート

担当部・課名	福祉部 子育て支援課	評価者 (課長)	中村 広忠	評価責任者 (部長)	大西 輝政
事務事業コード	513045	事務事業名	児童クラブ整備事業	事業の分類	(施設等整備事業) 補助・単独の別 補助 会計名 01一般会計

【事業概要】 Plan

まちづくり総合計画・後期基本計画における位置づけ	分野	Ⅲ 福祉・保健・医療	節(まちの姿)	Ⅲ2 安心して子育てができる	実施計画	○
	基本施策	Ⅲ21 子育て支援の充実	基本方向	子どもと子育てにやさしいまちを目指し、安心して子どもを生み育てることができる環境づくりを進めます。	20年度市民評価の満足度	
	推進施策	(2) 保育サービスの充実			【子育て支援や少子化対策】	22.80%
	推進施策の展開	保護者のニーズを踏まえながら、児童クラブの施設・保育内容の充実に努めます。			25年度市民評価の満足度	【子育て支援や少子化対策】 33.80%
事業の目的 (対象、意図)	対象(誰を・何を): 市内児童クラブ	意図(どういう状態にしたい): 保育環境の改善を図ることにより、安全で質の高い保育サービスを提供する。	事業の内容 (手段)	小学校耐震工事の実施に伴い移転が必要な児童クラブ及び新たに開設する児童クラブの整備を行う。		

【実施内容】 Do(細事業はDoとCheckを行います。各小事業や細事業の検証にあたっては、別添の検証シートを活用)

事業の実績		項目				単位	25年度	26年度	27年度(予算)	28年度(見込)	29年度(見込)			
【26年度】	○学校の耐震工事に伴い、余裕教室で実施している児童クラブを一時移転する必要が生じたため、保育環境を整えるための整備を行った。(徳山・遠石・久米・榑浜・夜市・戸田) ○湯野小学校区児童クラブの開設に向け整備を行った。	直接事業費		千円		9,803	48,462	6,512	5,000					
		(予算額) うち一財	千円		9,137	13,334	4,316	5,000						
事業目標	目標名	児童クラブ数	計算式	カウント式	単位	か所	事業費	直接事業費	千円	7,859		対27年度増減理由	対28年度増減理由	
	年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度		(決算額) うち一財	千円	7,328		学校の耐震工事に伴う臨時教室開設のための整備終了		
	目標値			7.0	10.0			正職員人件費	千円	0	3,328			
	実績値			7.0				人工数	人		0.45	0.65		
	達成度(%)			100.0%				支出コスト	千円	決) 0	決見) 11,187			
事業を構成する細事業【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度		人工数	コスト	委託等の可否				
	①	児童クラブ整備事業 (施設等整備事業)	市内児童クラブ	保育環境の改善を図ることにより、安全で質の高い保育サービスを提供する。	児童クラブの円滑な運営のための整備を行う。	7か所の児童クラブの整備を実施。	正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時嘱託			
							0.45		7,859	否	否			
	細事業の課題	■ 妥当性 □ 有効性 □ 効率性 □ コスト □ その他						細事業評価						
	②							A	改善案					
細事業の課題	□ 妥当性 □ 有効性 □ 効率性 □ コスト □ その他						細事業評価							
								改善案						

事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度		人工数		コスト		委託等の可否	
								正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時	
	③												
細事業の課題		<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価						
							改善案						
④													
細事業の課題		<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価						
							改善案						

【評価】 Check

課題・問題等	事業開始からの環境変化	前年度までの指摘事項	指摘事項に対する改善状況
	細事業の課題・問題点		事業全体の課題・問題点

所管課評価					
評価	A	A 計画どおりに事業を進めた B 実施方法やコスト等の見直しが必要 C 事業統合や外部委託等による大幅な見直しが必要 D 休止・廃止の検討	評価理由	今後も、保育環境の改善を図ることにより、安全で質の高い保育サービスを提供する。	改善案

評価責任者(所管部長)評価・コメント	
評価	A 今後も、保育環境の改善を図ることにより、安全で質の高い保育サービスを提供する。

第2次周南市まちづくり総合計画・前期基本計画における位置付け	
施策体系コード	100402
分野	1教育・子育て
基本施策	4子育て環境の充実
推進施策	(2)保育サービスの質・量の拡充

【改善】 Action

平成28年度当初予算等での改善結果(平成28年度当初予算への反映など)
学校の耐震化工事に伴う臨時教室開設のための整備終了による減額(△41,950千円)

備考

平成27年度 周南市事務事業評価シート

担当部・課名	福祉部 子育て支援課	評価者 (課長)	中村 広忠	評価責任者 (部長)	大西 輝政
事務事業コード	513063	事務事業名	こども家庭相談事業	事業の分類	(ソフト事業) 補助・単独の別 補助 会計名 01一般会計

【事業概要】 Plan

まちづくり総合計画・後期基本計画における位置づけ	分野	Ⅲ 福祉・保健・医療	節(まちの姿)	Ⅲ2 安心して子育てができる	実施計画	×
	基本施策	Ⅲ21 子育て支援の充実	基本方向	子どもと子育てにやさしいまちを目指し、安心して子どもを生み育てることができる環境づくりを進めます。	20年度市民評価の満足度	
	推進施策	(3) 子育て相談の充実			【子育て支援や少子化対策】	22.80%
	推進施策の展開	○子どもに関する総合相談窓口の体制整備を行うとともに、相談員の資質の向上に努め、子どもや保護者等からの相談に対して、迅速かつ適切に対応します。 ○児童虐待など要保護児童の早期発見・早期支援のため、要保護児童対策地域協議会を構成する関係機関・団体等とのネットワークを強化します。			25年度市民評価の満足度	
					【子育て支援や少子化対策】	33.80%
事業の目的 (対象、意図)	対象(誰を・何を): ○子ども ○家庭に関する相談を希望する市民	意図(どういう状態にしたい): 児童虐待などの要保護児童の早期発見と適切な保護を図る。	事業の内容 (手段)	○関係機関との連携により、児童虐待などの要保護児童の早期発見と適切な保護を図るための調査・支援を実施する。 ○子どもに関する総合相談窓口を設置し、子どもや保護者等からの様々な相談に応じる。		

【実施内容】 Do(細事業はDoとCheckを行います。各小事業や細事業の検証にあたっては、別添の検証シートを活用)

事業の実績	【26年度】	項目		単位	25年度	26年度	27年度(予算)	28年度(見込)	29年度(見込)			
		①研修会の開催 ②要保護児童対策地域協議会開催 ③こども総合相談センターでの相談受付件数:1,335件	直接事業費	千円	4,960	3,890	4,256	4,492	4,492			
	(予算額) うち一財	千円	2,480	1,300	1,420	1,498	1,498					
事業目標	目標名	相談件数	計算式	カウント式	単位	件	対27年度増減理由		対28年度増減理由			
	年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度						
	目標値	1,000.0	1,000.0	1,000.0	1,000.0	1,000.0						
	実績値	600.0	1,354.0	1,335.0								
	達成度(%)	60.0%	135.4%	133.5%								
事業を構成する細事業【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度		人工数	コスト	委託等の可否		
	①	こども家庭相談事業 (ソフト事業)	子ども、家庭に関する相談を希望する市民	児童虐待などの早期発見及び適切な助言により相談者の育児不安の解消を図る。	児童虐待などの早期発見及び相談者の育児不安等の解消。	相談件数:1,335件		正職員	臨時等	委託	臨時嘱託	
								0.88	1	3,617	可	可
	細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他 子育て家庭が抱える問題は、多様化・複雑化している状況がみられることから、育児の不安や養育に問題を抱えている家庭に対して、子育てに寄り添う支援を充実させる必要がある。					B	改善案	○全庁的な相談体制の見直しを行う。 ○関係機関との連携体制の強化を図る。			
②	要保護児童対策地域協議会事業 (ソフト事業)	要保護児童対策地域協議会構成員	要保護児童の早期発見と、適切な支援について協議・検討を行う。	要保護児童等に対して、適切な支援を行う。	○ケース進捗管理件数:134件 ○個別ケース検討会議の開催:44件 ○全体会議(代表者会議):1回		0.8	1	10	否	否	
細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他 要保護児童等に係る問題は、多様化・複雑化しており、今後、更に多機関協働で支援の組立てや実施を行う必要がある。					B	改善案	関係機関との連携体制の強化を図る。				

事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数		コスト		委託等の可否	
	③						正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時	
			④									
	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価						
	細事業の課題						改善案					
	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価						
	細事業の課題						改善案					

【評価】 Check

課題・問題等	事業開始からの環境変化	平成25年度から、「子育て支援交付金」より「子育て支援特別対策事業補助金」へ組み替えとなり、補助対象事業の見直しが行われた。	前年度までの指摘事項	相談内容の複雑化と、支援の長期化が顕著となり、今後も関係機関との連携を強化し、児童虐待の早期発見、対応に努めるとともに、全庁的な相談体制について協議・検討を行う。	指摘事項に対する改善状況	全庁的な相談体制についての協議を継続して行った。
	細事業の課題・問題点	<p>○子育て家庭が抱える問題は、多様化・複雑化している状況がみられることから、育児の不安や養育に問題を抱えている家庭に対して、子育てに寄り添う支援を充実させる必要がある。</p> <p>○学校だけでなく、家庭や地域との連携を更に進め、コミュニティ・スクールの質の向上を図るとともに、地域の特色を生かした教育の推進や、いじめや不登校の問題に対し、引き続き生徒指導や教育相談体制を図る必要がある。</p>	事業全体の課題・問題点	<p>○子育て家庭が抱える問題は、多様化・複雑化している状況がみられることから、育児の不安や養育に問題を抱えている家庭に対して、子育てに寄り添う支援を充実させる必要がある。</p> <p>○学校だけでなく、家庭や地域との連携を更に進め、コミュニティ・スクールの質の向上を図るとともに、地域の特色を生かした教育の推進や、いじめや不登校の問題に対し、引き続き生徒指導や教育相談体制を図る必要がある。</p>		

所管課評価

評価	B	A 計画どおりに事業を進めた B 実施方法やコスト等の見直しが必要 C 事業統合や外部委託等による大幅な見直しが必要 D 休止・廃止の検討	評価理由	関係機関との緊密な連携を図るとともに、人材の確保、育成への取組みを継続して実施することで、相談体制の強化を図る。	改善案	○全庁的な相談体制の見直しを行う。 ○関係機関との連携体制の強化を図る。
----	---	--	------	--	-----	---

評価責任者(所管部長)評価・コメント

評価	B	関係機関との緊密な連携を図るとともに、人材の確保、育成への取組みを継続して実施することで、相談体制の強化を図る。
----	---	--

第2次周南市まちづくり総合計画・前期基本計画における位置付け

施策体系コード	100403
分野	1教育・子育て
基本施策	4子育て環境の充実
推進施策	(3)子育て相談の充実

【改善】 Action

平成28年度当初予算等での改善結果(平成28年度当初予算への反映など)	
こども相談調整員(1名)を子育て世代包括支援センター事業(基本型)に組み替え(嘱託報酬△981千円)、相談受付・支援経過記録管理システム導入経費(+1,198千円)	

備考

備考	
----	--

平成27年度 周南市事務事業評価シート

担当部・課名	福祉部 子育て支援課	評価者 (課長)	中村 広忠	評価責任者 (部長)	大西 輝政
事務事業コード	513065	事務事業名	児童虐待防止対策強化事業	事業の分類	(ソフト事業) 補助・単独の別 補助 会計名 01一般会計

【事業概要】 Plan

まちづくり総合計画・後期基本計画における位置づけ	分野	Ⅲ 福祉・保健・医療	節(まちの姿)	Ⅲ2 安心して子育てができる	実施計画	×
	基本施策	Ⅲ21 子育て支援の充実	基本方向	子どもと子育てにやさしいまちを目指し、安心して子どもを生み育てることができる環境づくりを進めます。	20年度市民評価の満足度	
	推進施策	(3) 子育て相談の充実			【子育て支援や少子化対策】	22.80%
	推進施策の展開	○子どもに関する総合相談窓口の体制整備を行うとともに、相談員の資質の向上に努め、子どもや保護者等からの相談に対して、迅速かつ適切に対応します。 ○児童虐待など要保護児童の早期発見・早期支援のため、要保護児童対策地域協議会を構成する関係機関・団体等とのネットワークを強化します。			25年度市民評価の満足度	
					【子育て支援や少子化対策】	33.80%
事業の目的 (対象、意図)	対象(誰を・何を): ○相談事業従事者 ○関係機関職員 ○子ども ○家庭に関する相談を希望する市民	意図(どういう状態にしたい): 児童虐待などの要保護児童の早期発見と適切な保護を図るため、市民に対する相談機関のPRや、相談室職員及び関係機関職員等の資質の向上を図り、適切な相談対応体制を構築する	事業の内容 (手段)	○関係機関職員等に関する講習会の実施 ○相談室職員等の資質向上のための研修受講 ○市民に対する相談機関についてのPR		

【実施内容】 Do(細事業はDoとCheckを行います。各小事業や細事業の検証にあたっては、別添の検証シートを活用)

事業の実績	【26年度】						事業費	項目	単位	25年度	26年度	27年度(予算)	28年度(見込)	29年度(見込)
	・市要対協研修会:2回、延べ参加者数:145名 ・職員研修受講:子どもの虹情報研修センター実施研修:3名 ・PR:リーフレット、相談電話カード、ポスター、クリアファイルを公共施設・学校等に配布								直接事業費	千円	1,282	720	2,128	2,161
事業目標	目標名	研修実施回数	計算式	カウント式	単位	回	(予算額)	うち一財	千円	641	240	1,064	1,081	1,064
	年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	直接事業費	千円	481	702		対27年度増減理由	対28年度増減理由	
	目標値	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	(決算額)	うち一財	千円	225	205			
	実績値	4.0	3.0	2.0			正職員人件費	千円	2,491	3,328				
	達成度(%)	200.0%	150.0%	100.0%			人工数	人	0.34	0.45	0.45			
事業を構成する細事業【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数		コスト		委託等の可否			
	①	児童虐待防止対策強化事業 (ソフト事業)	相談事業従事者、関係機関職員等、子どもや家庭に関する相談を希望する市民	相談体制整備ため相談員、関係機関職員等の資質向上と、相談機関に関する市民に対する周知	子どもや保護者等からの相談に対し、適切に対応できる体制を構築する	市要対協研修会:2回、延べ参加者数:145名	正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時嘱託			
	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他 子育て家庭の抱える問題は、多様化・複雑化しており、相談対応には高度な専門性と広範な知識が必要となっている。						B	改善案	関係機関との緊密な連携を図るとともに、人材の確保、育成への取り組みを継続して実施することで、相談体制の強化を図る。					
	②													
<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他						細事業評価								
							改善案							

事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数		コスト		委託等の可否		
	③						正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時		
			④										
	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価							
	細事業の課題						改善案						
	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価							
	細事業の課題						改善案						

【評価】 Check

課題・問題等	事業開始からの環境変化	国補助金の組替により、平成25年度から財源割合が補助対象事業費の1/2となる。 (PC購入費についてのみ10/10)	前年度までの指摘事項	相談内容の複雑化が進んでおり、相談体制の充実が必要不可欠な要件であり、今後も、職員のスキルアップと、関係機関との連携強化を図る必要がある。	指摘事項に対する改善状況	全庁的な相談体制についての協議を継続して行った。
	細事業の課題・問題点	子育て家庭の抱える問題は、多様化・複雑化しており、相談対応には高度な専門性と広範な知識が必要となっている。	事業全体の課題・問題点	子育て家庭の抱える問題は、多様化・複雑化しており、相談対応には高度な専門性と広範な知識が必要となっている。		

所管課評価						
評価	B	A 計画どおりに事業を進めた B 実施方法やコスト等の見直しが必要 C 事業統合や外部委託等による大幅な見直しが必要 D 休止・廃止の検討	評価理由	被虐待児童、非行児童などの要保護児童の適切な保護を目的として、関係機関等により構成される「要保護児童対策地域協議会」の機能強化を図るため、調整機関としての役割を果たす市職員や関係機関職員の専門性向上のための取組みの充実を図る。	改善案	人材の確保や育成への取組みを継続して実施することで、相談体制の強化を図る。

評価責任者(所管部長)評価・コメント	
評価	B 被虐待児童、非行児童などの要保護児童の適切な保護を目的として、関係機関等により構成される「要保護児童対策地域協議会」の機能強化を図るため、調整機関としての役割を果たす市職員や関係機関職員の専門性向上のための取組みの充実を図る。

第2次周南市まちづくり総合計画・前期基本計画における位置付け	
施策体系コード	100403
分野	1教育・子育て
基本施策	4子育て環境の充実
推進施策	(3)子育て相談の充実

【改善】 Action

平成28年度当初予算等での改善結果(平成28年度当初予算への反映など)
嘱託報酬単価の改定による増額(+33千円)

備考

平成27年度 周南市事務事業評価シート

担当部・課名	福祉部 子育て支援課	評価者 (課長)	中村 広忠	評価責任者 (部長)	大西 輝政
事務事業コード	513088	事務事業名	子育て支援イベント開催事業	事業の分類	(ソフト事業) 補助・単独の別 補助 会計名 01一般会計

【事業概要】 Plan

まちづくり総合計画・後期基本計画における位置づけ	分野	Ⅲ 福祉・保健・医療	節(まちの姿)	Ⅲ2 安心して子育てができる	実施計画	×
	基本施策	Ⅲ21 子育て支援の充実	基本方向	子どもと子育てにやさしいまちを目指し、安心して子どもを生み育てることができる環境づくりを進めます。	20年度市民評価の満足度	
	推進施策	(1) 子育て支援サービスの充実			【子育て支援や少子化対策】	22.80%
	推進施策の展開	少子化の進行に歯止めをかけ、安心して子どもを生み、育てることができる社会を実現するため、家庭、学校、職場、地域など社会全体で「結婚・妊娠・出産・子育て」へと続く「切れ目のない支援」に取り組む体制づくりを進めます。			25年度市民評価の満足度	
					【子育て支援や少子化対策】	33.80%
事業の目的 (対象、意図)	対象(誰を・何を): 周南市民 周南市に就労または就学しているもの	意図(どういう状態にしたい): 結婚・妊娠・出産・子育てに関する不安や悩みの解消を図るとともに、子育て中の親同士の情報交換や交流の促進を図る。	事業の内容 (手段)	結婚・妊娠・出産・子育ての各分野で活動を行っている団体からなる実行委員会を組織し、「結婚に向けての意識醸成」、「妊娠・出産に関する正しい意識の啓発」、「子育てに係る講演会」、「親子のふれあいを促す公演」を実施		

【実施内容】 Do(細事業はDoとCheckを行います。各小事業や細事業の検証にあたっては、別添の検証シートを活用)

事業の実績 【26年度】	【子育て支援イベントの開催】 ・イベント名:ハビ・ハグ(Happy Hug)フォーラム ・実施日:平成26年11月23日 ・事業内容:結婚・妊娠・出産・子育てのステージごとに事業を実施 参加人数:313名						項目	単位	25年度	26年度	27年度(予算)	28年度(見込)	29年度(見込)
								直接事業費	千円		1,600	0	0
事業目標	目標名	参加人数	計算式	達成項目/目標項目	単位	%	(予算額)	うち一財	千円	0	0	0	0
	年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	直接事業費	千円		1,242	対27年度増減理由		対28年度増減理由
	目標値			310.0			(決算額)	うち一財	千円	0			
	実績値			313.0			正職員人件費	千円		0			
	達成度(%)			101.0%			人工数	人			0.50		
事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数		コスト		委託等の可否		
	① 子育て支援イベント開催事業 (ソフト事業)	周南市民 周南市に就労または就学しているもの	結婚・妊娠・出産・子育てに関する不安や悩みの解消を図るとともに、子育て中の親同士の情報交換や交流の促進を図る。	結婚・妊娠・出産・子育てをしやすい地域づくりに向けた環境整備を行う。	○結婚に対する意識の醸成と妊娠・出産・子育てについての正しい知識の啓発を行うとともに、イベント開催を契機として婚活や子育て支援に取り組む団体相互のネットワークの構築を図ることができた。	正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時嘱託			
						0.5		1,242	可	可			
細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他 ○今回構築した関係団体とのネットワークを基盤として、各団体の有するネットワークの活用やノウハウの活用を図ることで、より効果的・効率的なPR方法を検討する必要がある。○今回のフォーラムにより得ることができた参加者からの意見をもとに、参加者のニーズを踏まえた事業を継続して実施する必要がある。					細事業評価							
	A	改善案											

【評価】 Check

課題・問題等	事業開始からの環境変化	—	前年度までの指摘事項	—	指摘事項に対する改善状況	—
	細事業の課題・問題点			事業全体の課題・問題点		

所管課評価

評価	A	A 計画どおりに事業を進めた B 実施方法やコスト等の見直しが必要 C 事業統合や外部委託等による大幅な見直しが必要 D 休止・廃止の検討	評価理由	今後も、安心して子どもを生み、次世代を担う子どもを健やかに育てるための環境づくりに取り組む。	改善案	
----	---	--	------	--	-----	--

評価責任者(所管部長)評価・コメント

評価	A	今後も、安心して子どもを生み、次世代を担う子どもを健やかに育てるための環境づくりに取り組む。
----	---	--

第2次周南市まちづくり総合計画・前期基本計画における位置付け

施策体系コード*	100401
分野	1教育・子育て
基本施策	4子育て環境の充実
推進施策	(1)子育て支援サービスの充実

【改善】 Action

平成28年度当初予算等での改善結果(平成28年度当初予算への反映など)

平成27年度に引き続き、子育て支援講演会等開催のための経費を「婚活・子育て応援事業費」で予算計上
--

備考

--